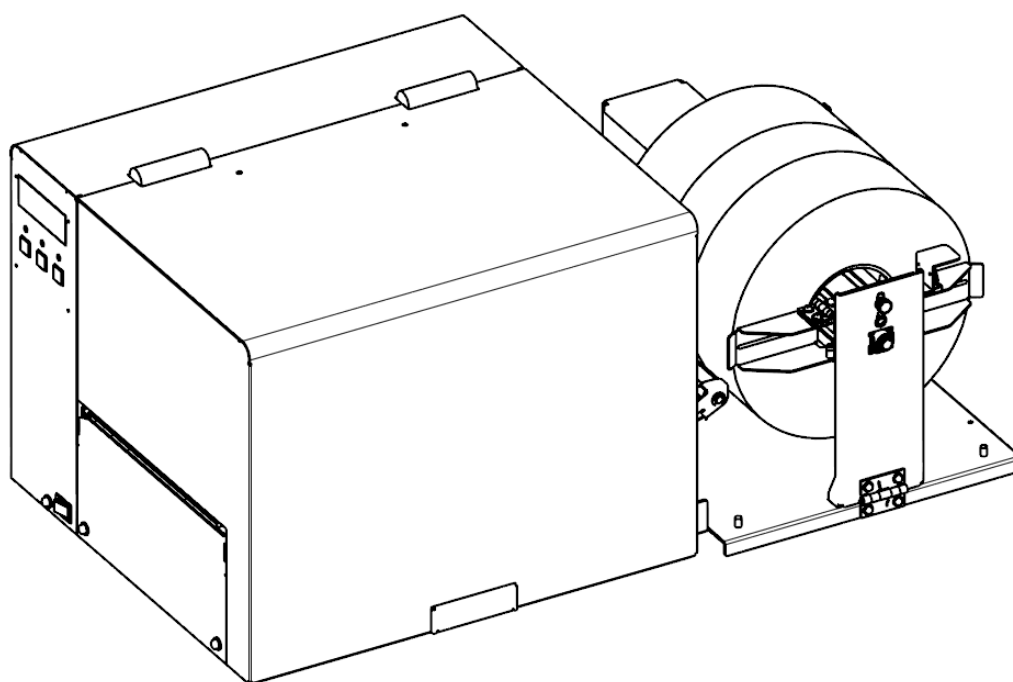


GHS612R

取扱説明書



サトー製プリンタには、サトーのサプライ製品 **純正[®]** のご使用をお願いします。

株式会社 サトー

取扱説明書 GHS612R

目次

1. 安全にお使いいただくために	3
2. 同梱品の確認	6
3. 各部の名称と働き	7
3-1) 外観	
3-2) 各部詳細	
3-2-1) プリンタ	
3-2-2) ラベルホルダ	
3-3) 操作パネルと液晶表示	
3-4) 製品外形	
4. 本機の準備	13
4-1) 本機の設置	
4-2) プリンタとラベルホルダーの接続	
4-3) パソコンとの接続	
4-4) 電源コードの接続	
4-5) 電源 ON	
4-6) 電源 OFF	
4-7) リボン、ラベルの装着	
5. プリンター設定ツールとプリンタドライバのインストールと設定について	17
5-1) プリンタ設定ツールとプリンタドライバの入手について	
5-2) プリンタ設定ツールのインストール手順について	
5-3) プリンタドライバのインストール手順について	
5-4) プリンタ設定ツールとプリンタドライバの設定について	
6. ラベルの取り付け方	25
7. リボンの取り付け方、交換方法	30
8. 反射・透過センサー出力値調整について	33
9. 日常のお手入れ	35
9-1) 印字ブロック部の清掃について	
9-2) ラベル搬送部の清掃について	
10. 困ったときは	37
10-1) エラーメッセージについて	
10-2) 正しく動作しないとき	
11. 基本仕様	43
12. アフターフォローについて	45

1. 安全にお使いいただくために

本章では、プリンタのご使用時における安全について記載しております。

プリンタをご使用になる前に必ずお読みください。

●プリンタを正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害、財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。

●以下に示す表示と意味をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

●絵表示には次のような意味があります。



注意

この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」です。



感電注意



高温注意



ケガに注意



手を挟まないよう注意



禁止

この絵表示は、してはならない「禁止」内容です。



分解禁止



火気厳禁



濡れ手禁止



接触禁止



必ず守る

この絵表示は、必ず実行していただきたい「強制」内容です。



電源プラグを抜く



アースを接続する

⚠ 警告

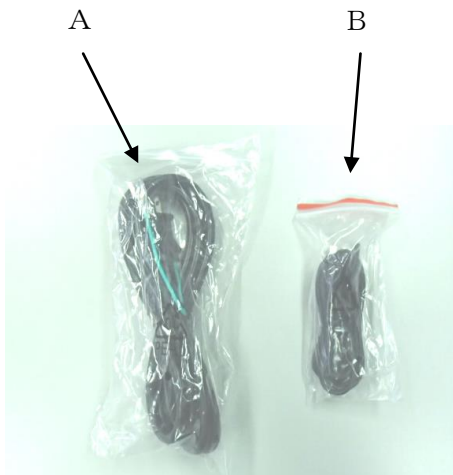
 禁止	■指定以外の電圧は使用しない 指定された電源電圧 (AC100V) 以外は、使用しないでください。火災・感電の原因になります。	 禁止	■オプションケーブルやスキャナの接続について オプションのケーブルやスキャナをプリンタ本体へ接続する場合は、必ずプリンタやオプションの電源を切ってからおこなってください。電源を ON にしたまま接続すると、オプション機器が突然動いてケガをしたり、感電するおそれがあります。
	■内部に異物を入れない プリンタの開口部（ケーブルの出口やSD カートリッジ取付口など）から金属物や燃えやすいものを差し込んだり、落としたりしないでください。万一、内部に異物や水が入った場合は、速やかに電源スイッチを切り、電源コードの差込みプラグをコンセントから抜いて、販売店、ディーラーまたはサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。	 分解禁止	■分解しないでください プリンタの分解や改造をしないでください。火災・感電の原因になります。内部の点検・調整・修理は、販売店、ディーラーまたはサポートセンターにご依頼ください。
	■電源コードの取り扱いについて - 電源コードを傷つけたり、破損、加工したりしないでください。また、重いものを載せたり、加熱したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。 - 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店、ディーラーまたはサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。 - 本プリンタに付属の電源コード、2 極アダプタは、本プリンタ専用です。他の電気製品には使用できません。	 濡れ手禁止	■濡れた手で操作しない 濡れた手で電源スイッチの操作や電源コードの抜き差しをしないでください。感電のおそれがあります。
		 接触禁止	■カットに手やものを入れない ケガをするおそれがあります。
	■落としたり、破損したときは プリンタを落としたり、破損した場合は、速やかに電源スイッチを切り、電源コードの差込みプラグをコンセントから抜いて、販売店、ディーラーまたはサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。	 アースを接続する	■必ずアース線を接続してください 必ずプリンタのアース線をアースへ接続してください。アース線を接続しないと感電の原因になります。
	■異常な状態で使用しない 万一、プリンタから煙がでている、変な臭いがするなどの異常が発生したまま使用すると、火災・感電の原因になります。すぐに電源スイッチを切り、電源コードの差込みプラグをコンセントから抜いて、販売店、ディーラーまたはサポートセンターに修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。	 火気厳禁	■プリンタ清掃液の取り扱い プリンタ清掃液は、火気厳禁です。加熱したり、火の中に放り込むことは、絶対におこなわないでください。

注意

 注意	■持ち運び - 用紙をセットしたまま、プリンタを持ち運ばないでください。用紙が落ち、ケガをするおそれがあります。 - プリンタを床や台の上などに置く場合、プリンタに指や手を挟まないように注意してください。 ■電源コード - 電源コードをコンセントから抜くときは、必ず、差込みプラグを持って抜いてください。電源コードを持って抜いた場合、芯線が露出や断線し、火災・感電の原因になります。 - 電源コードに熱器具を近付けないでください。熱器具を近付けた場合、電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因になります。 ■サーマルヘッドの取り扱い - サーマルヘッドの端を素手で触るとケガをするおそれがあります。用紙の交換、清掃は、ケガをしないように注意してください。 - お客様によるサーマルヘッドの交換は、おこなわないでください。ケガ、火傷および感電のおそれがあります。 ■ファンフォールド紙のセット - バックカバーを取り外すときや取り付けるときは、ケガをしないように注意してください。 ■SD カードの取り扱い - SD カードを落としたり、手で曲げたりして強い衝撃を与えないでください。記憶された内容が失われるおそれがあります。 - 水に濡らさないでください。記憶された内容が失われるおそれがあります。 - 直射日光の当たるところや暖房器具の近くに置かないでください。 - コネクタ部を直接触ったり、ゴミやホコリが入ったりしないようにしてください。記憶された内容が失われるおそれがあります。 - 高温多湿のところに保管しないでください。 - 静電気防止のため、輸送・保管時は必ずケースに入れてください。	 注意	■プリンタ清掃液の保存 - お子様が間違って飲み込まないように手の届かないところに保管してください。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。 ■持ち運び時のコードの扱い - 移動されるときは、必ず電源コードの差込みプラグをコンセントから抜いてください。また、外部との接続線を外したことを確認してください。外さないまま移動すると、電源コード、接続線が傷つき火災・感電の原因になります。 ■サーマルヘッド（高温注意） - 印字後のサーマルヘッドは、高い温度になっています。用紙を交換するときや清掃するときは、火傷をしないように注意してください。 ■長期間で使用にならないとき - プリンタをご使用にならないときは、安全のため電源コードの差込みプラグをコンセントから抜いてください。 ■お手入れ・清掃のとき - プリンタのお手入れや清掃をするときは、安全のため電源コードの差込みプラグをコンセントから抜いてください。
	 高温注意		
	 電源プラグを抜く		

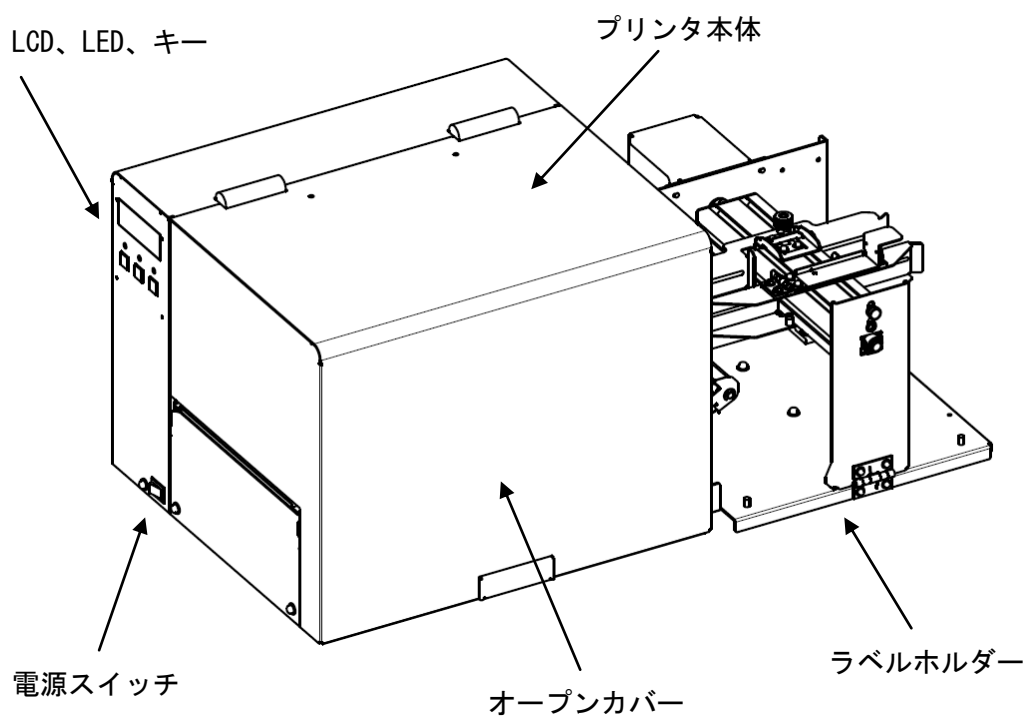
2. 同梱品の確認

- ・ プリンタ本体
- ・ ラベルホルダー（別梱包）
- ・ 電源コード（写真 A）
- ・ USB ケーブル（写真 B）
- ・ 取扱説明書（写真 C）

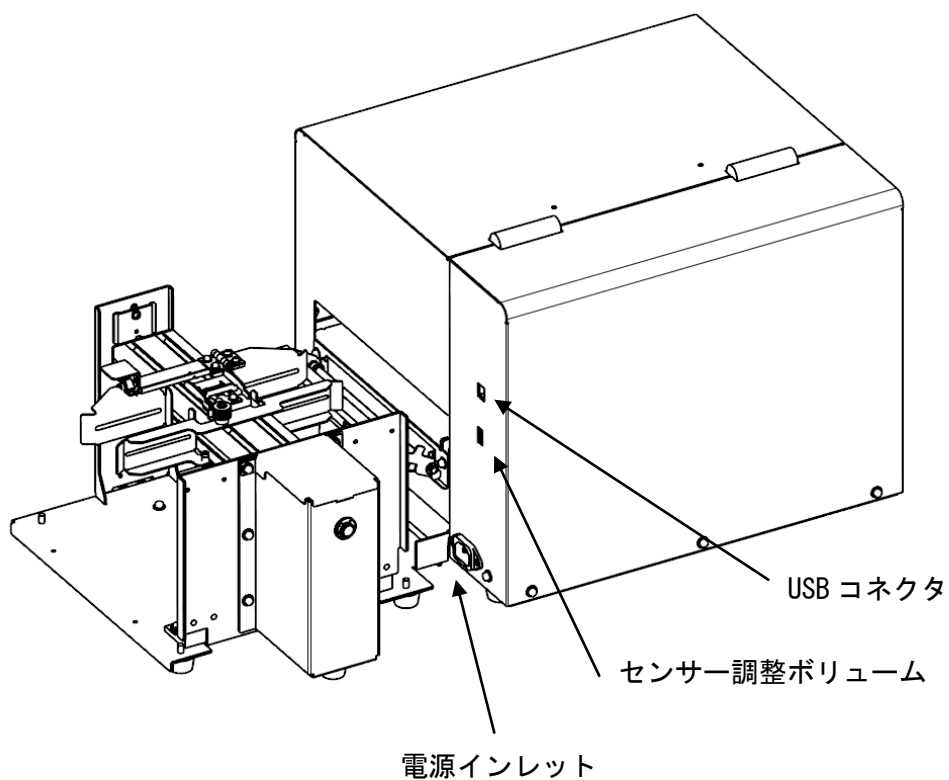


3. 各部の名称と働き

3-1) 外観



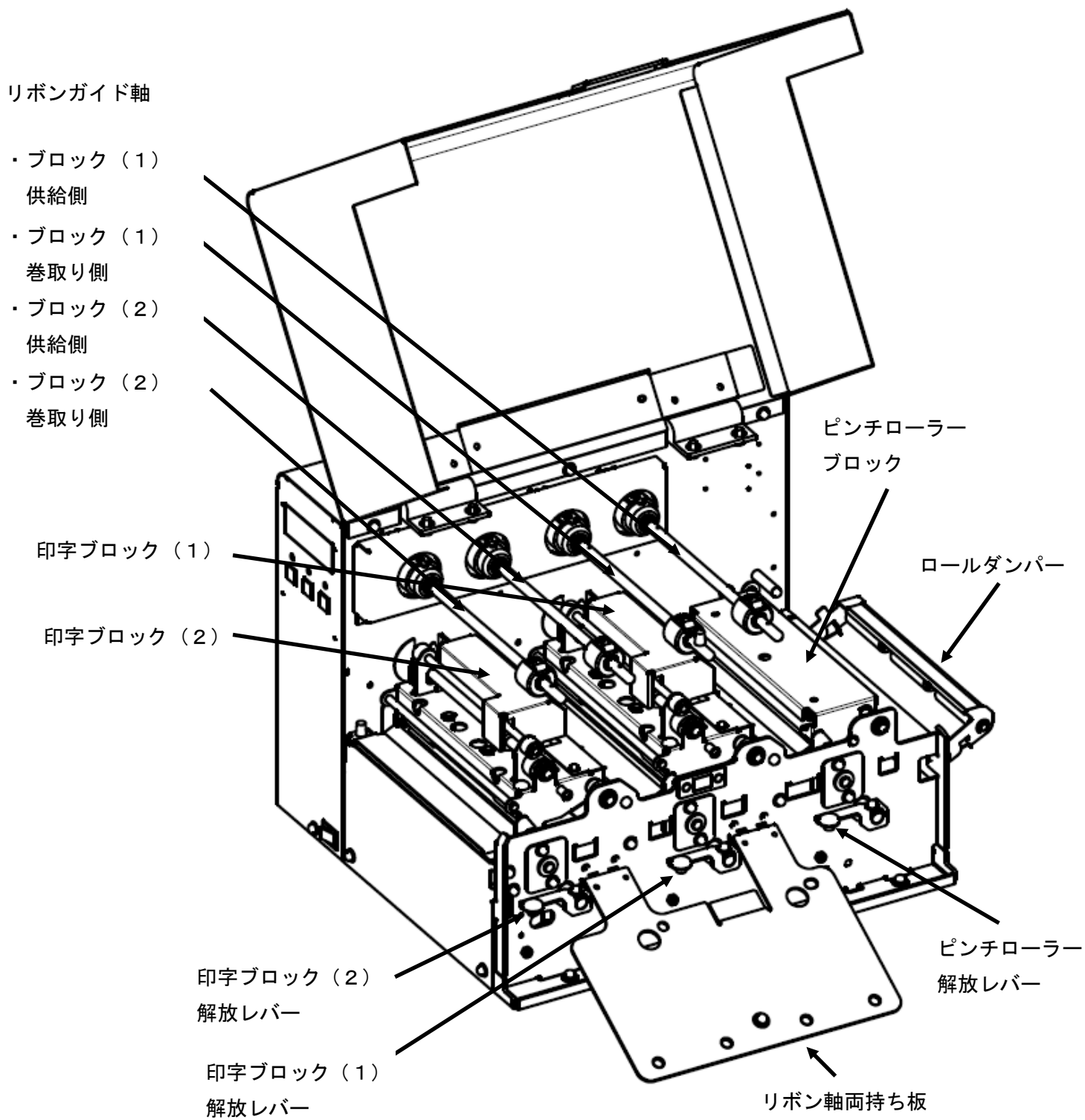
<正面斜視図>



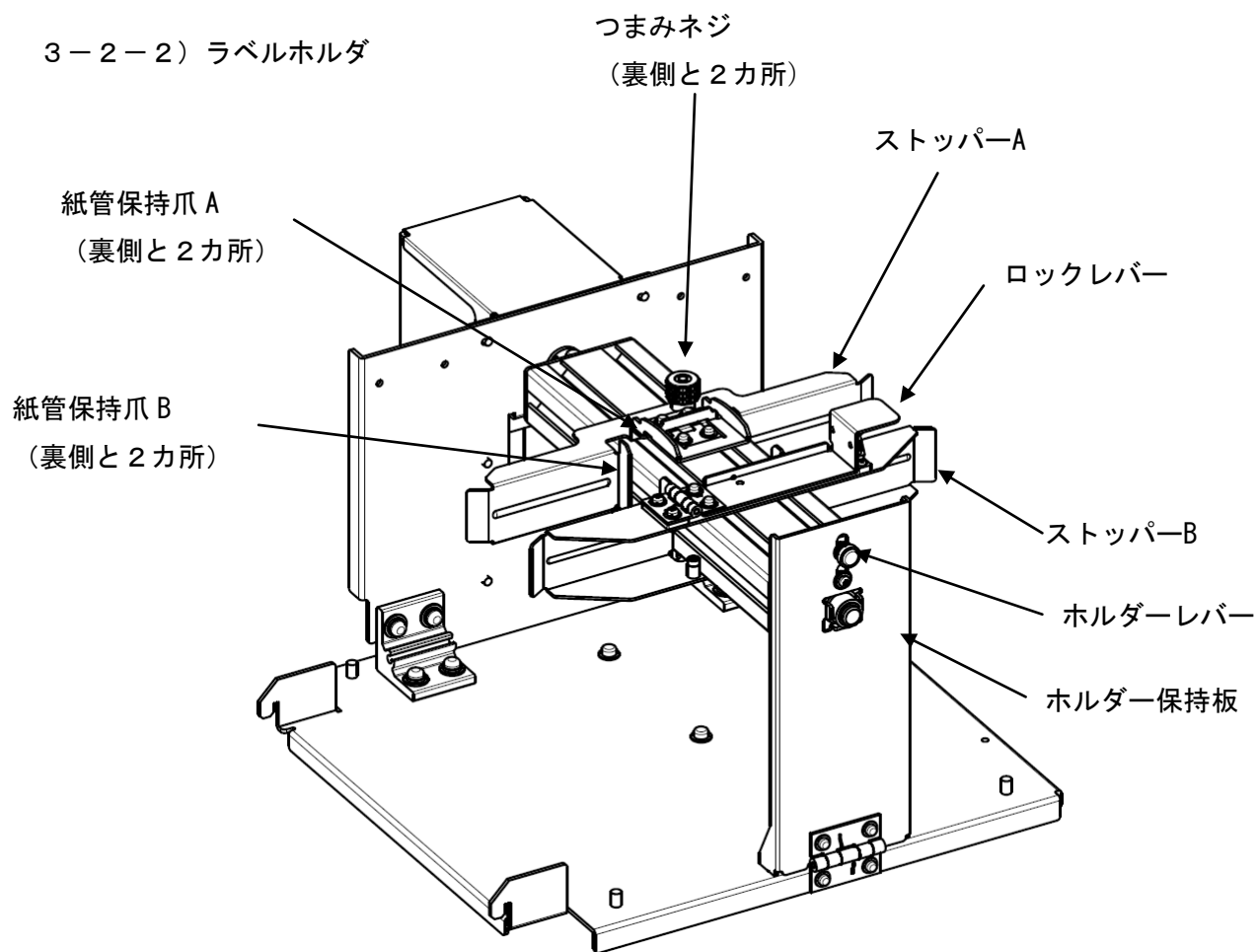
<背面斜視図>

3-2) 各部詳細

3-2-1) プリンタ



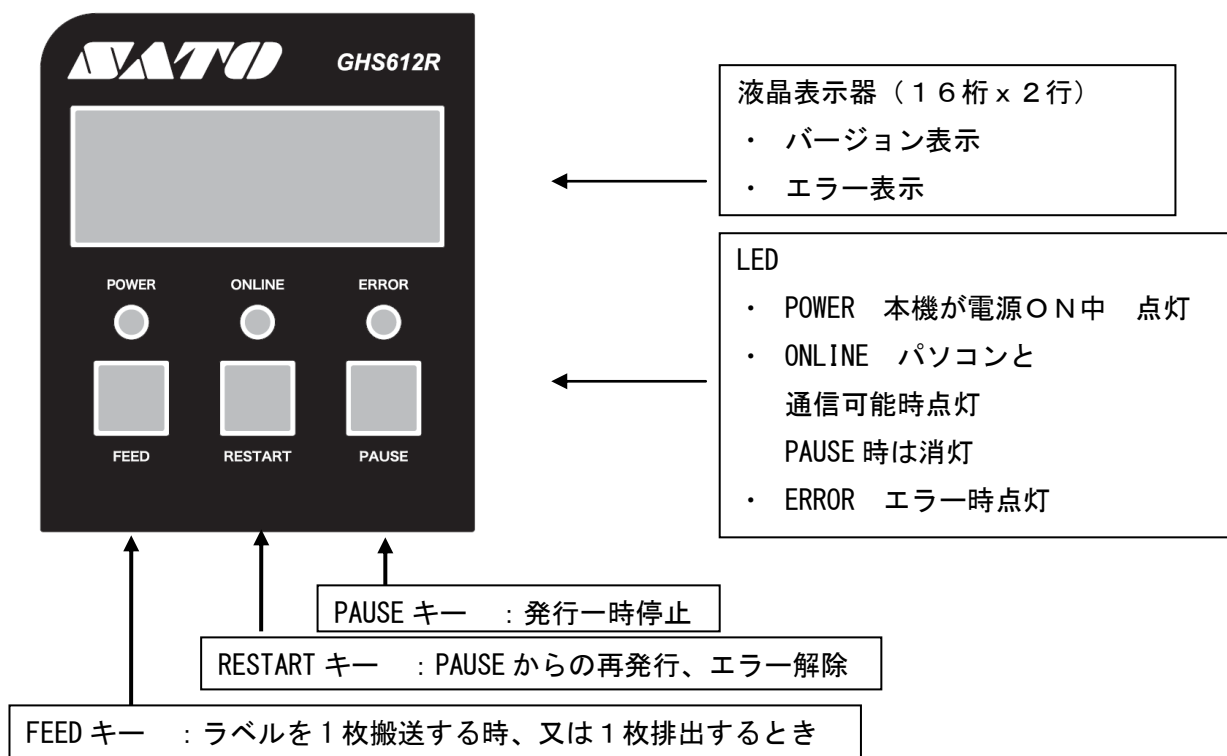
3-2-2) ラベルホルダ



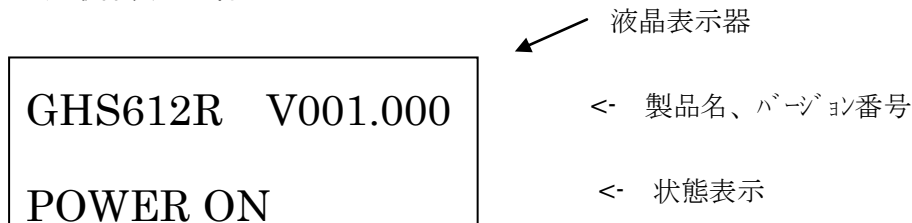
<正面斜視図>

3-3) 操作パネルと液晶表示

3-3-1) 操作パネル



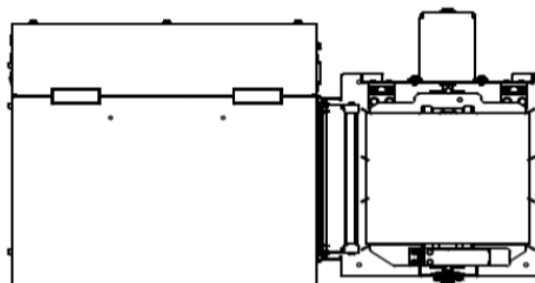
3-3-2) 液晶表示内容



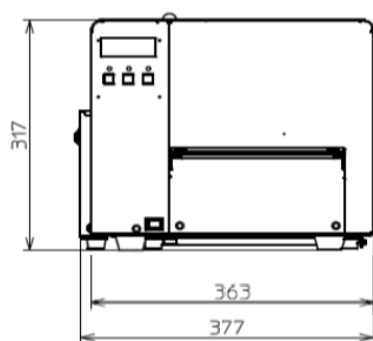
	状態表示	
1	POWER ON	電源SWをオンしたとき
2	ON LINE	パソコンと通信可能状態
3	PAUSE	印字中断中
4	PAPER JAM	ラベルがないか、又は正しくセットされていない
5	PAPER END	印字中にラベルがなくなった状態
6	RIBBON STOP	リボン軸が回転していない状態
7	HEAD OPEN	印字ブロックがオープン状態
8	RIBBON CUT	リボンが切れている (又はリボンが装着していない) 状態
9	ON LINE 1 * (2 *)	リボンが終了しそうな状態
10	FBLOCK OPEN	搬送ブロックがオープン状態

3-4) 製品外形

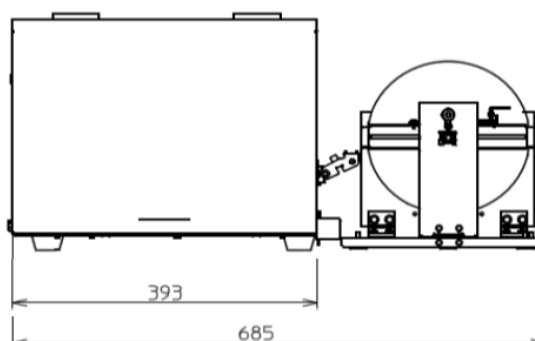
<標準モデル>



<上面>

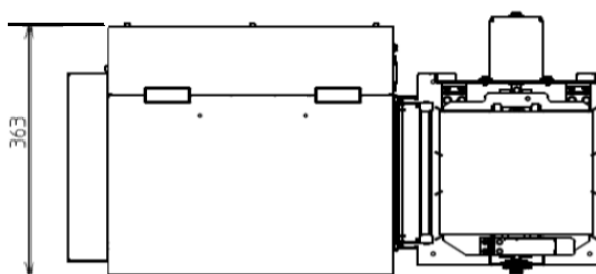


<正面>

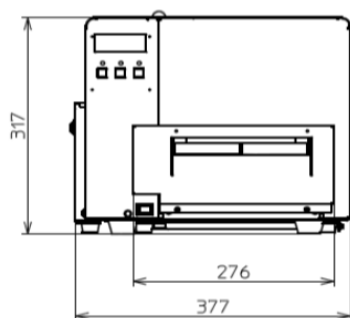


<側面>

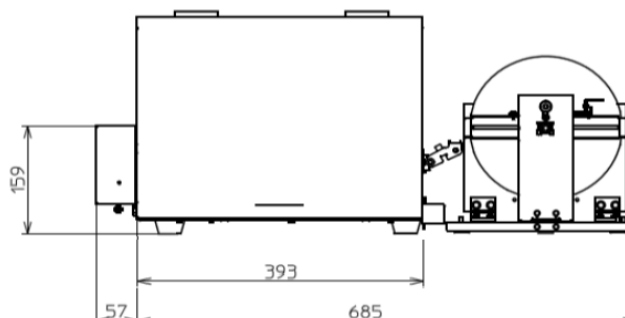
<カッターモデル>



<上面>

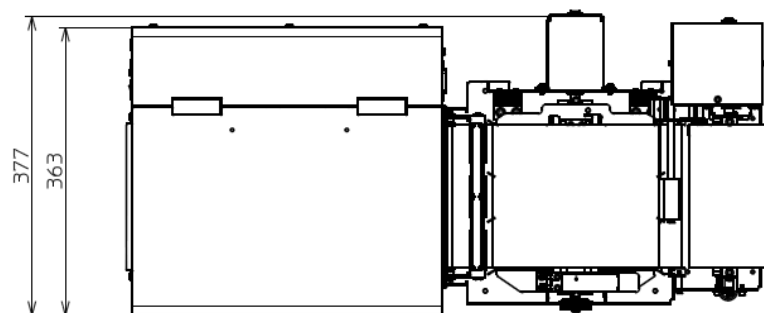


<正面>

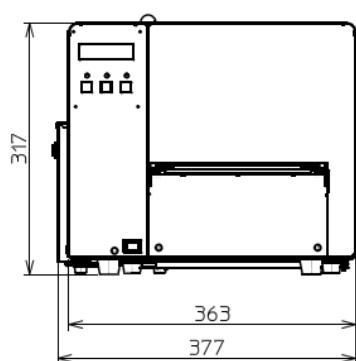


<側面>

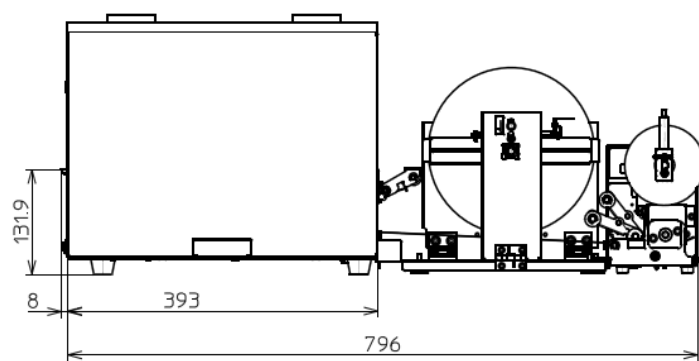
<剥離モデル>



<上面>

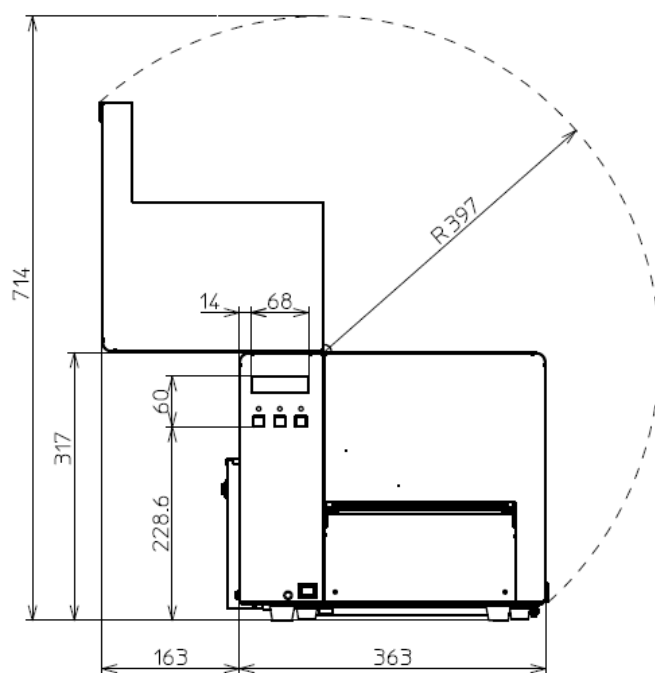


<正面>



<側面>

<カバーオープン時>

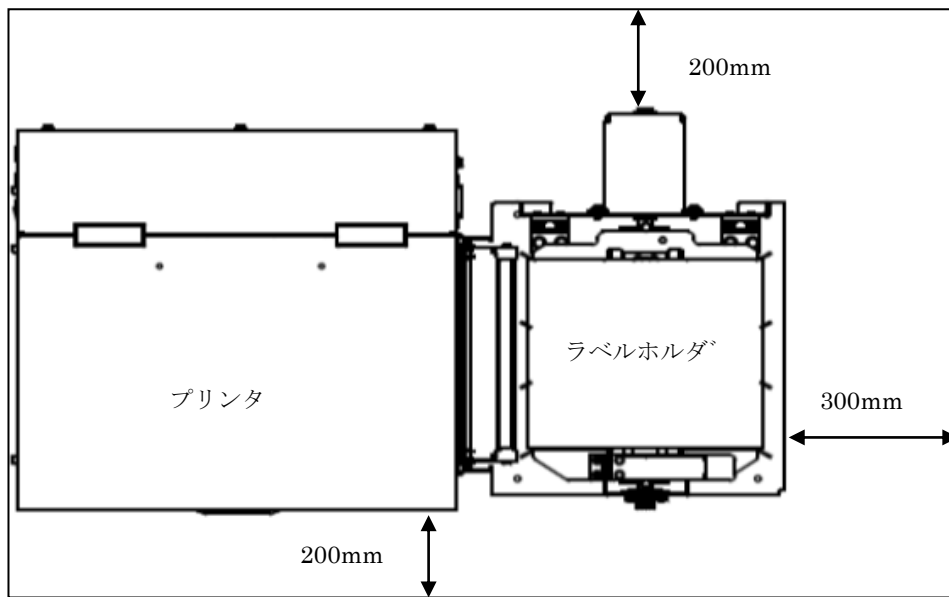


4. 本機の準備

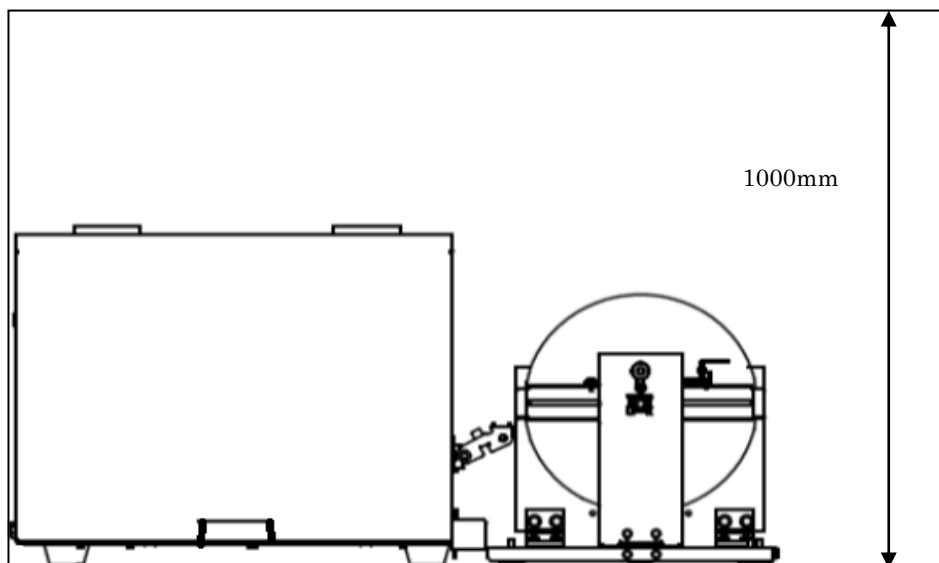
4-1) 本機の設置

操作するために十分なスペースを確保し、風通しが良く平坦な場所に本機を設置して下さい。

[上から見た図]



[横から見た図]



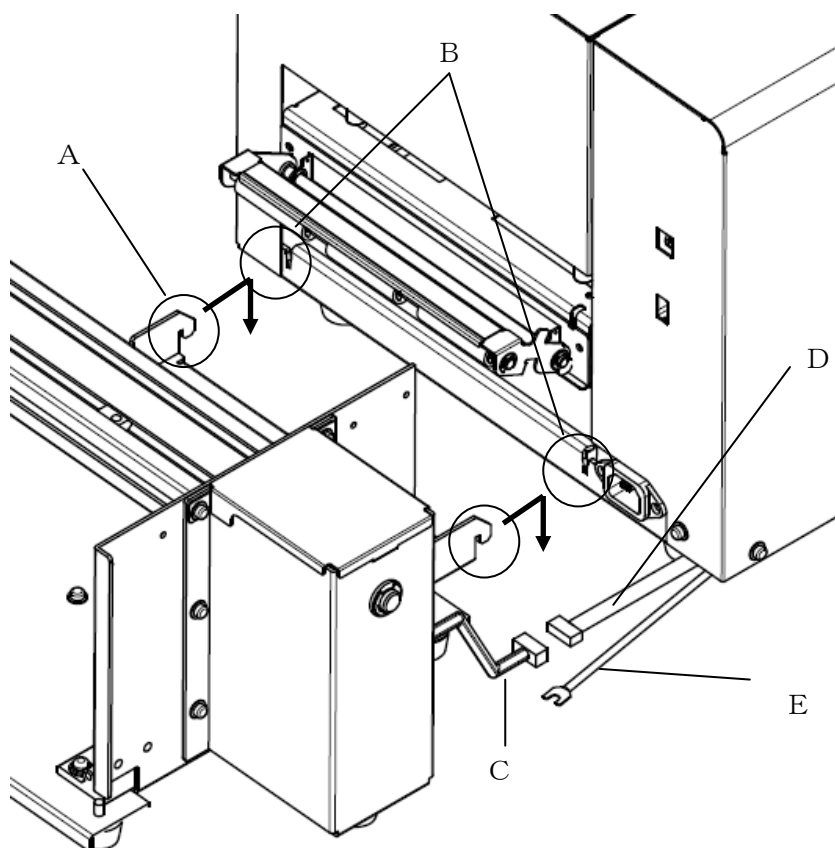
4-2) プリンタとラベルホルダの接続

4-2-1) ラベルホルダの、Aで示す2カ所の爪を、プリンタ背面の Bで示す2カ所の溝に、矢印のように差し込んで下さい。

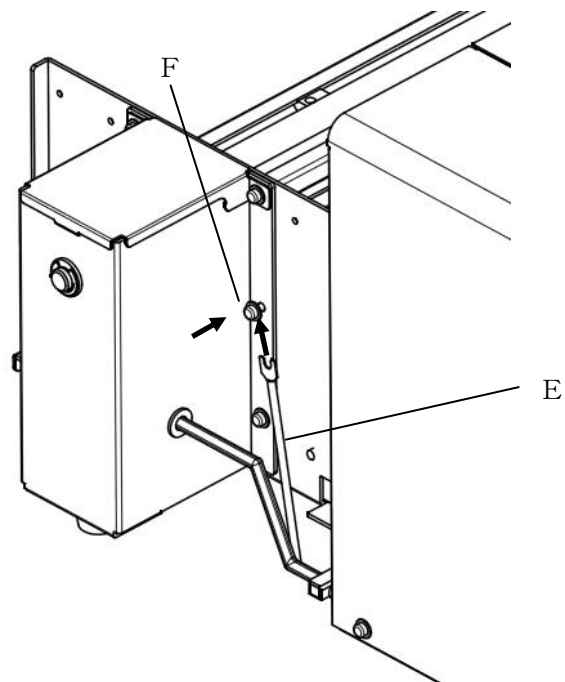
4-2-2) ラベルホルダから出ている Cで示すコネクタと、プリンタ底面から出ている Dで示すコネクタを接続して下さい。

4-2-3) プリンタ底面から出ている、Eで示す端子を、ラベルホルダの Fで示すネジを緩めてネジと板金の間に差込み、ネジを締めてください。

<4-2-1)、4-2-2) 説明図>



< 4 - 2 - 3) 説明図 >



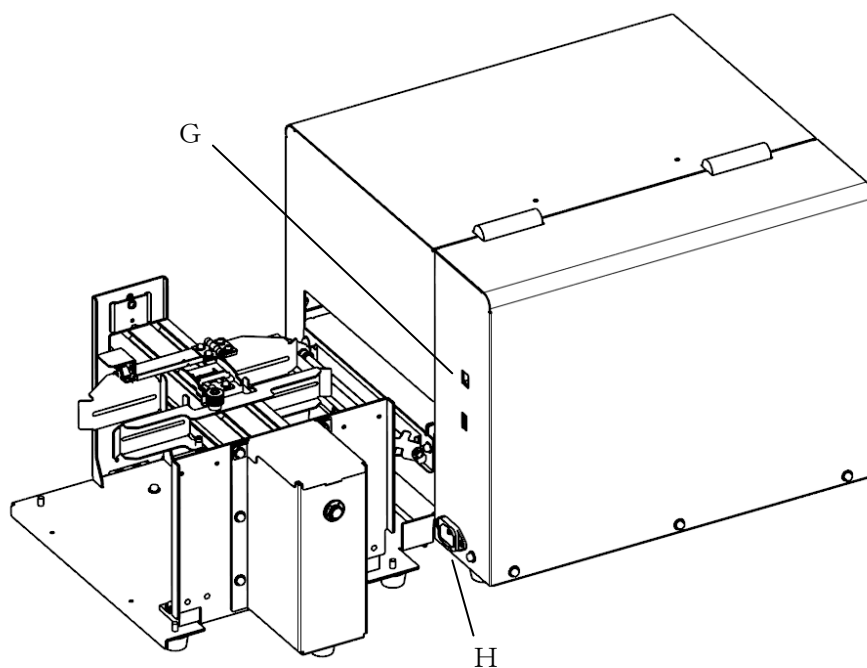
4 - 3) パソコンとの接続

G で示す、背面USBコネクタにUSBケーブルを接続して下さい。

4 - 4) 電源コードの接続

H で示す、背面の電源インレットに、電源コードを接続して下さい。

(注意) 電源コードの接続時は、1. 安全にお使いいただくためにを守って下さい。

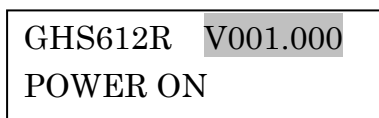


4-5) 電源 ON (ラベルを正しくセットした後)

3-1) 外観に示す、電源スイッチを、白マーク側に倒して下さい。



液晶表示器に下記、表示をします。



バージョンによって表記が違います

LED は、「POWER」「ON LINE」が点灯します。

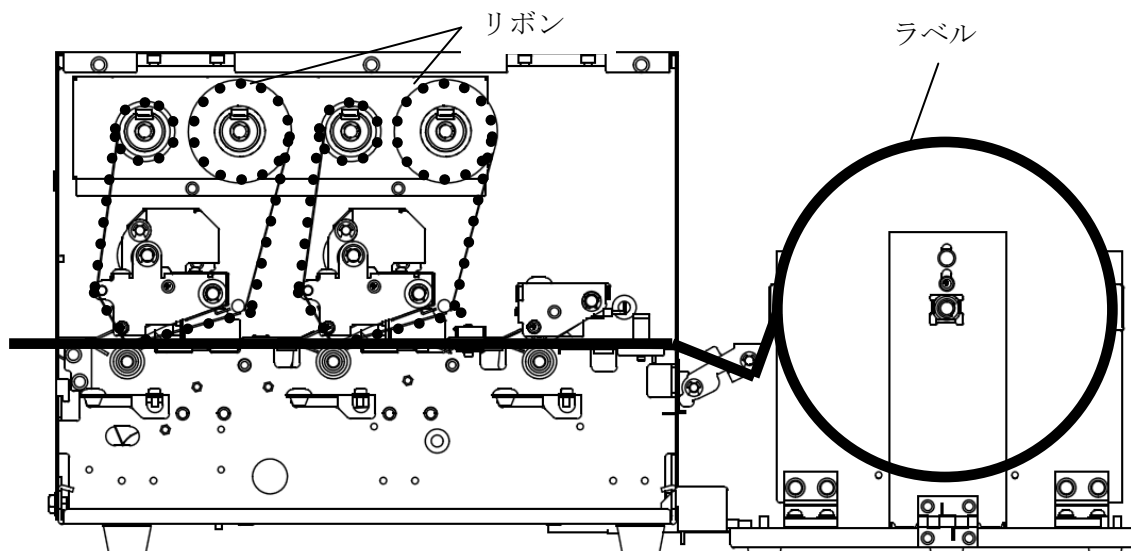
(注意) 電源が入らなかったり、エラーメッセージが表示された場合
「10. 困ったときは」を参照下さい。

4-6) 電源 OFF

3-1) 外観に示す、電源スイッチを、白マークが無い側に倒して下さい。

4-7) リボン、ラベルの装着

リボン、ラベルの装着経路は下図の通りです。

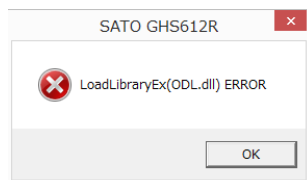


取付け方法は、6. ラベルの取り付け方、および、7. リボンの取り付け方、交換方法を参照して下さい。

5. プリンター設定ツールとプリンタドライバのインストールと設定について

GHS 6 1 2 Rプリンタで印字するためには、パソコンにGHS 6 1 2 R用のプリンタ設定ツールとプリンタドライバをインストールする必要があります。

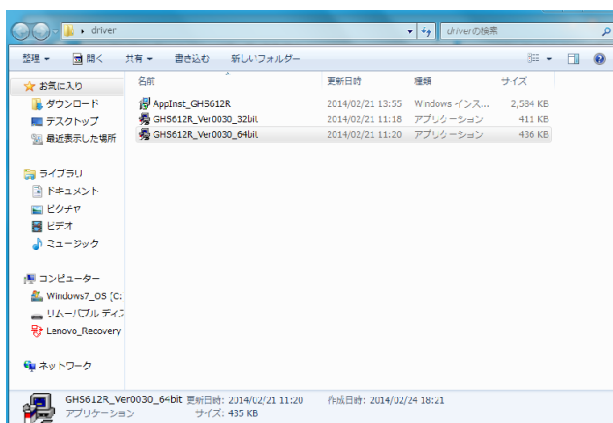
(注) プリンター設定ツールが未インストール状態で、印刷を実行すると次のエラーメッセージが画面に表示されます。



5-1) プリンタ設定ツールとプリンタドライバの入手について

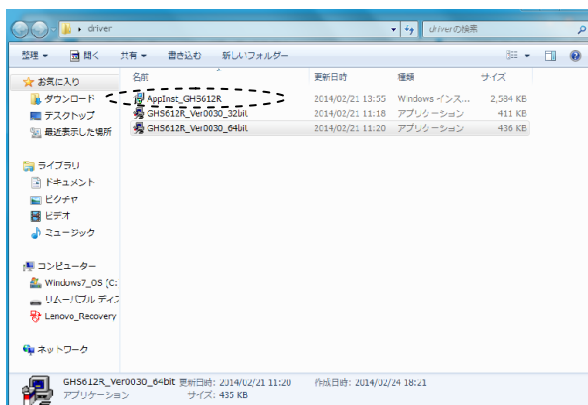
弊社のホームページ <http://www.sato.co.jp/download/>よりプリンタ設定ツールとプリンタドライバをダウンロードして下さい。

(例として、デスクトップのdriverというフォルダーにダウンロードしたときのフォルダの内容です。)



5-2) プリンタ設定ツールのインストールは、次の手順でインストールして下さい。

5-2-1) ダウンロードしたフォルダの中の AppInst_GHS612R というインストーラをダブルクリックして下さい。



5-2-2) 次の画面が表示されますので、“次へ (N)” をクリックして下さい。



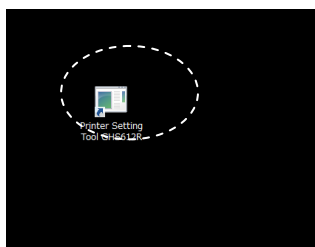
5-2-3) 続いて次の画面が表示されますので、“インストール (I)” をクリックして下さい。



5-2-4) 続いて次の画面が表示されますので、“完了 (F)” をクリックして下さい。

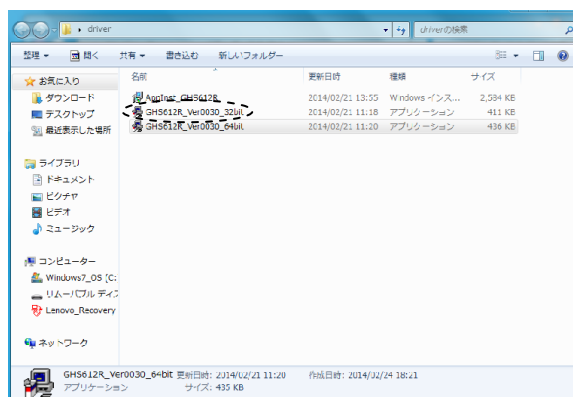


5-2-5) ディスก์トップに「Printer_SettingToolGHS612R」のショートカットが表示されたら正しくインストールが終了しています。



5-3) プリンタドライバーのインストールは、次の手順でインストールして下さい。

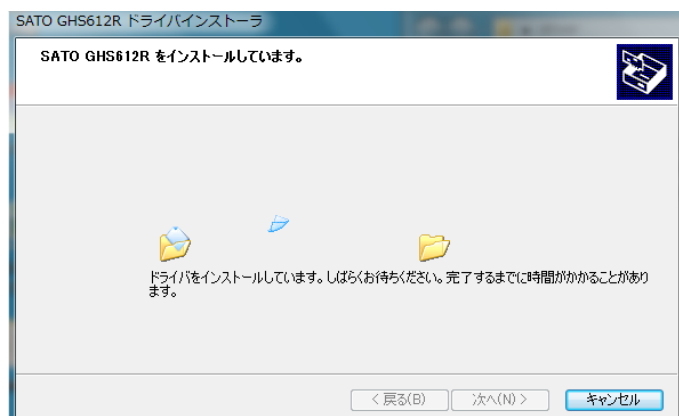
5-3-1) ダウンロードしたフォルダの中の GHS612R_driver_XXXX_32bit というインストーラをダブルクリックして下さい(32Bit の場合)。XXXX:バージョン No (64Bit の場合は、GHS612R_driver_XXXX_64bit)



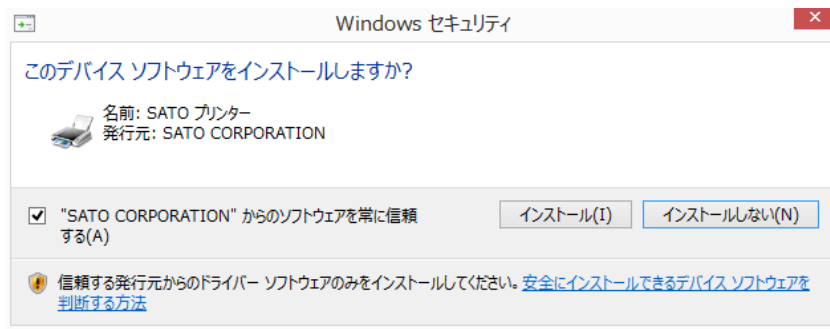
5-3-2) 次の画面が表示されるので、“次へ (N)” をクリックして下さい。



5-3-3) ドライバのインストール中の画面が表示されます。



- 5-3-4) 署名の確認のために Windows により次の画面が表示される場合があります。
“インストール(I)” をクリックして下さい。



- 5-3-5) インストールの終了画面が表示されますので、“完了” をクリックして下さい。



- 5-3-6) プリンタの電源をオンしてパソコンとUSBケーブルで接続をして下さい。
デバイスとプリンタ画面で SATO GHS612R プリンタが表示されていることをご確認ください。



5-4) プリンタ設定ツールとプリンタドライバの設定について

プリンタ設定ツールによるプリンタ本体への設定とプリンタドライバー側の設定があります。

(注1) プリンタードライバー側の設定は、必ず実施して下さい。

(注2) プリンタ本体の設定は、出荷時に設定済みですが、「ラベル種」、「印字スピード」毎に濃度調整が必要です。同梱しています濃度調整表を参照して頂き、ご使用の「ラベル種」、「印字スピード」に該当する濃度をプリンタ設定ツールを使用して設定して下さい。

(注3) 濃度調整表は、プリンタ毎に固有の表です。

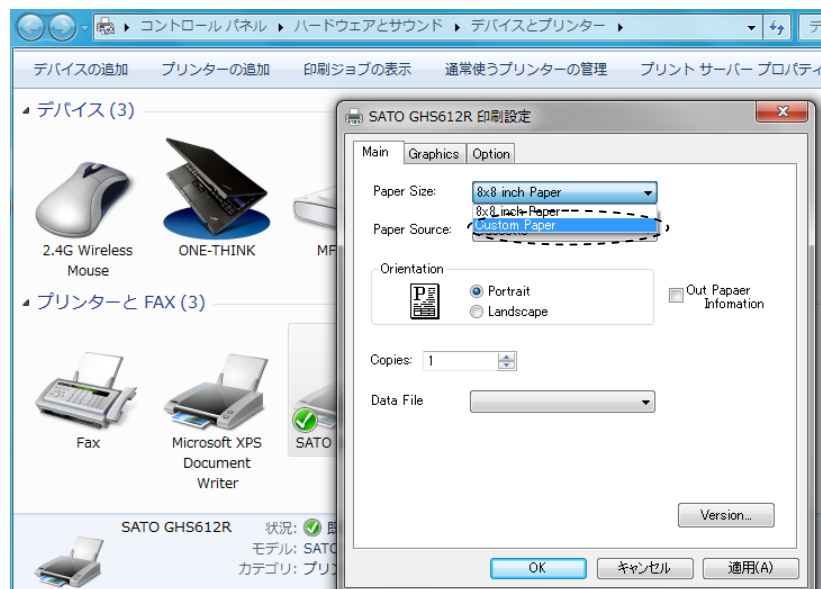
5-4-1) プリンタ設定ツールの設定については、“GHS612R プリンタ設定ツール操作マニュアル”を参照して下さい。

5-4-2) プリンタドライバーの設定については、次の手順で設定して下さい。

イ) デバイスとプリンターの画面で SATO GHS612R プリンタを右クリックして下さい。
次の画面を表示するので、“印刷設定 (G)”を選択して下さい。



- ロ) 印刷設定画面で PaperSize プルダウンメニューから” Custom Paper” を選択して下さい。



- ハ) 続いて下記表示が現れるので、使用するラベルのサイズを入力して“OK”をクリックして下さい。



ニ) プリンタ設定ファイルの指定

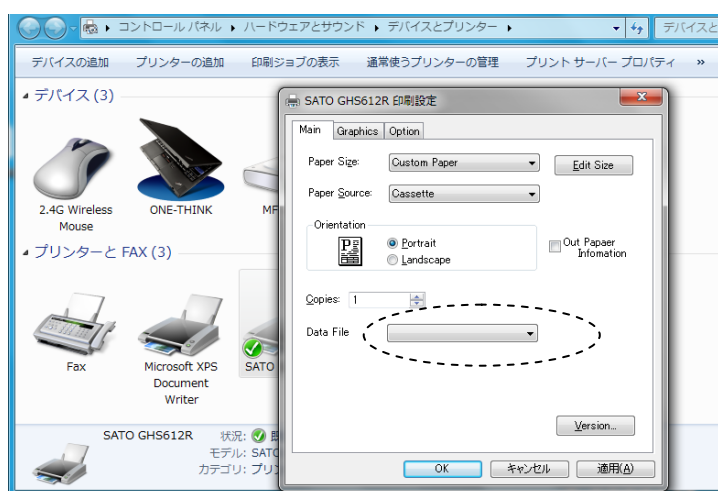
(注) プリンタ設定ファイルとは、プリンタ設定ツールで作成し、保存した

設定ファイルです。指定すると印刷時、毎回、プリンタへ指定された設定ファイルを送信し、その設定に従って印字します。(この時、プリンタ本体の設定値は、指定された設定ファイルの設定値に書き換わっています。)

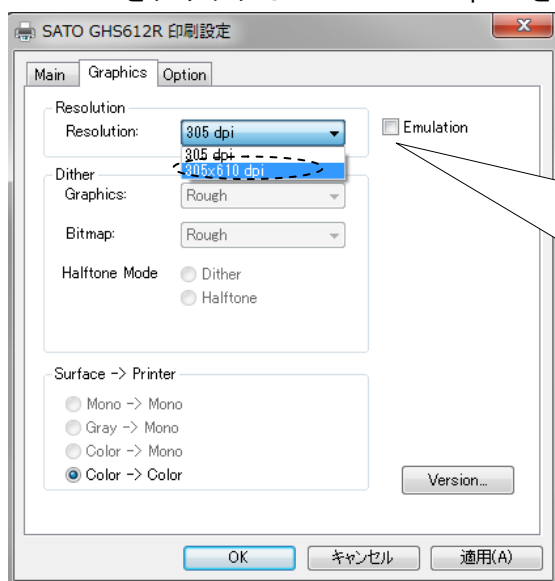
指定しない場合は、その時点のプリンタが記憶している設定値に従って印字します。

Data File のプルダウンメニューをクリックすると保存されている設定ファイルが表示されるので、その中から指定したい設定ファイルを選択し、“OK” をクリックして下さい。

(プルダウンメニューに設定ファイルがない場合は、設定ファイルが未登録です。)



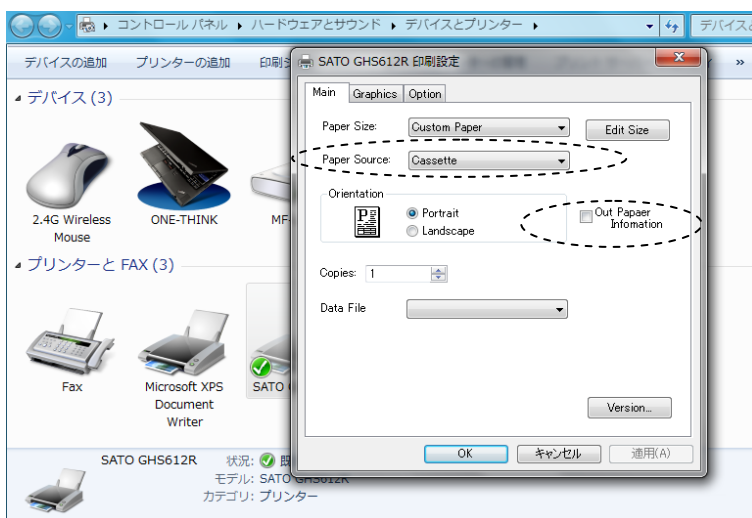
ホ) 解像度を擬似 600dpi にする場合は、Graphics を選択して、Resolution のプルダウンメニューをクリックし“305 X 610 dpi”を選択して下さい。



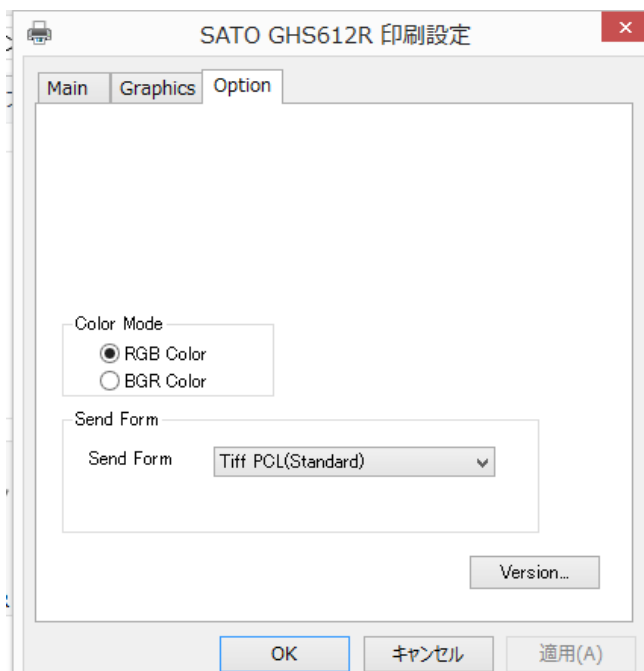
発行ソフトによっては、305X610dpi の設定にすると正しく印字されない場合があります。この場合は、Emulation チェックボックスにチェックを入れて下さい。

へ) プリンタドライバで以下の箇所は変更しないで下さい。

- ・ Main の PaperSource と OutPaperInformation



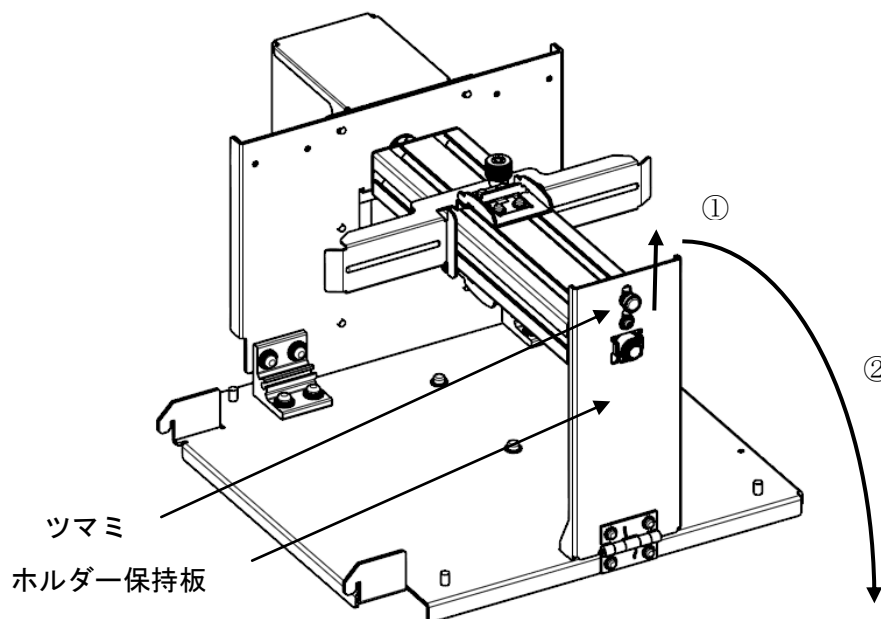
- ・ Option のすべての項目



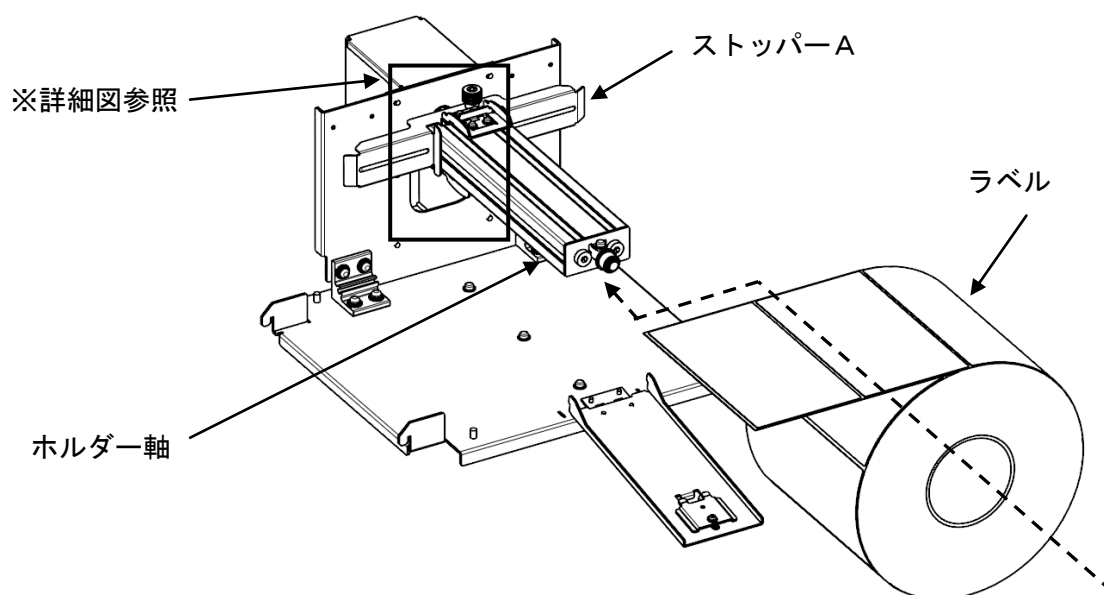
6. ラベルの取り付け方

6-1) ラベルホルダーへのラベルのセット

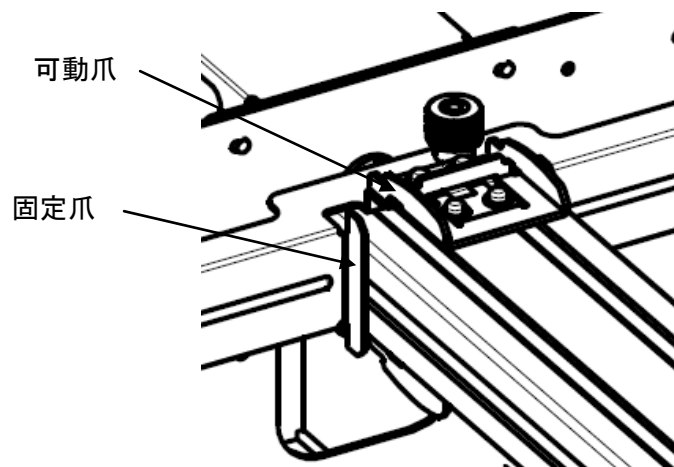
6-1-1) ラベルホルダーのツマミを持ち、上方向に持ち上げて（図中①）、ホルダー保持板を手前へ開いて下さい（図中②）。



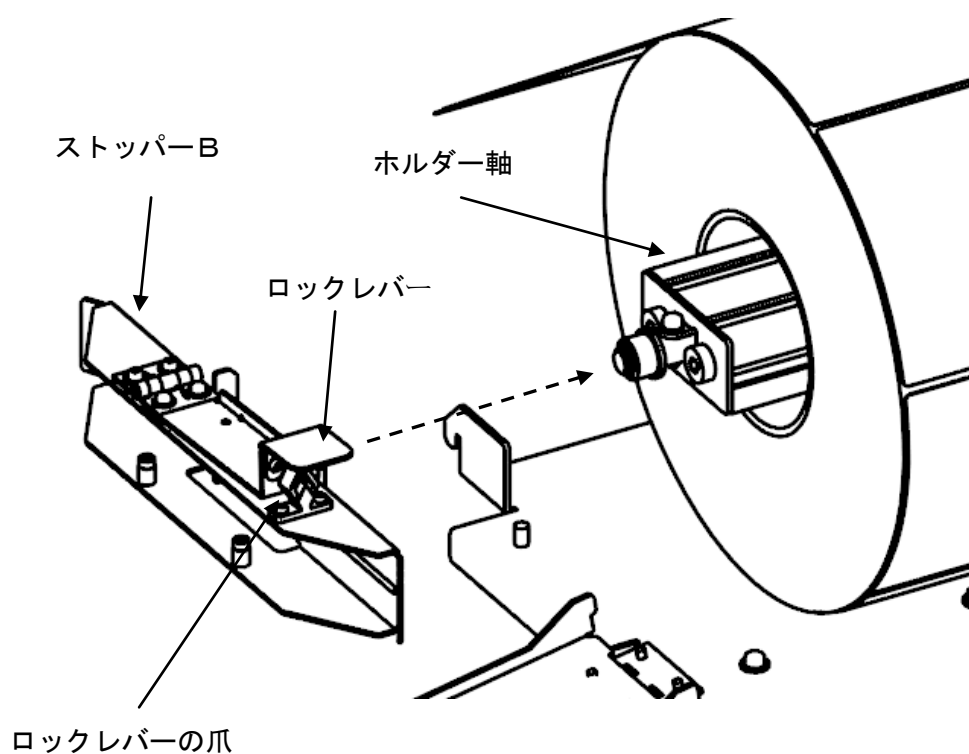
6-1-2) 下図のように、ラベルをホルダー軸に通して、ストッパーAの固定爪と可動爪（※詳細図参照）にラベルの紙管を差し込み、ストッパーAへ突き当てて下さい。



※詳細図

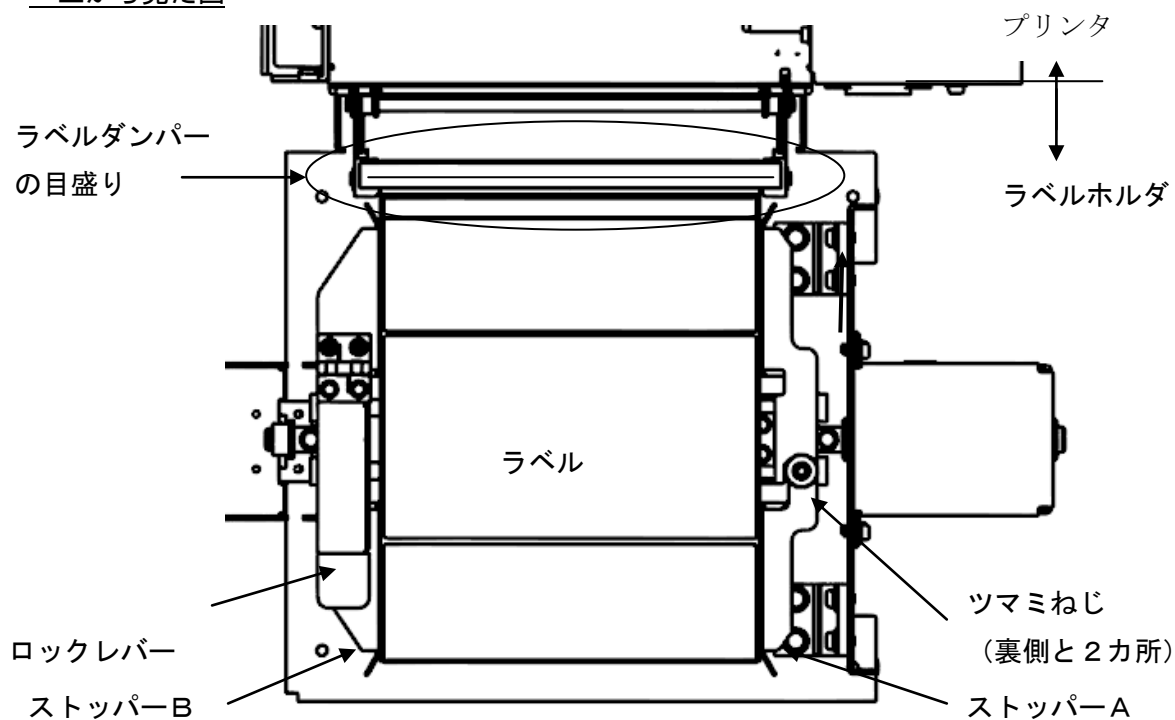


6-1-3) ストッパーBのロックレバーの爪が外れている状態で、ストッパーBを、ホルダー軸に通して、ラベルの紙管に差し込み、ラベルの側面に突き当て下さい。

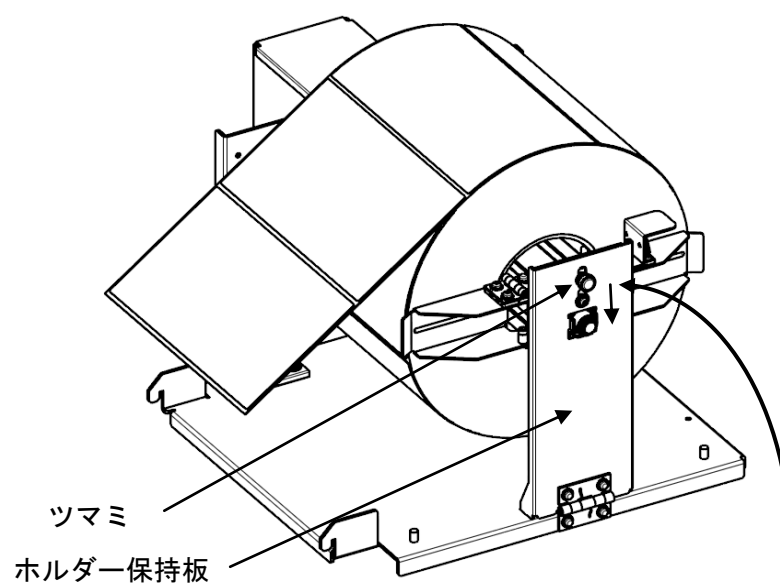


6-1-4) ラベルダンパーの目盛を基準にして、ラベルがセンターになっている事を確認し、ストッパーA は、2個のツマミねじを締めて、ストッパーB は、ロックレバーを押し込んで、両側のストッパーを固定して下さい。

* 上から見た図



6-1-5) ホルダー保持板を閉め、ツマミを押し下げ、ホルダー保持板をロックして下さい。



6-2) プリンタ側のラベルセット

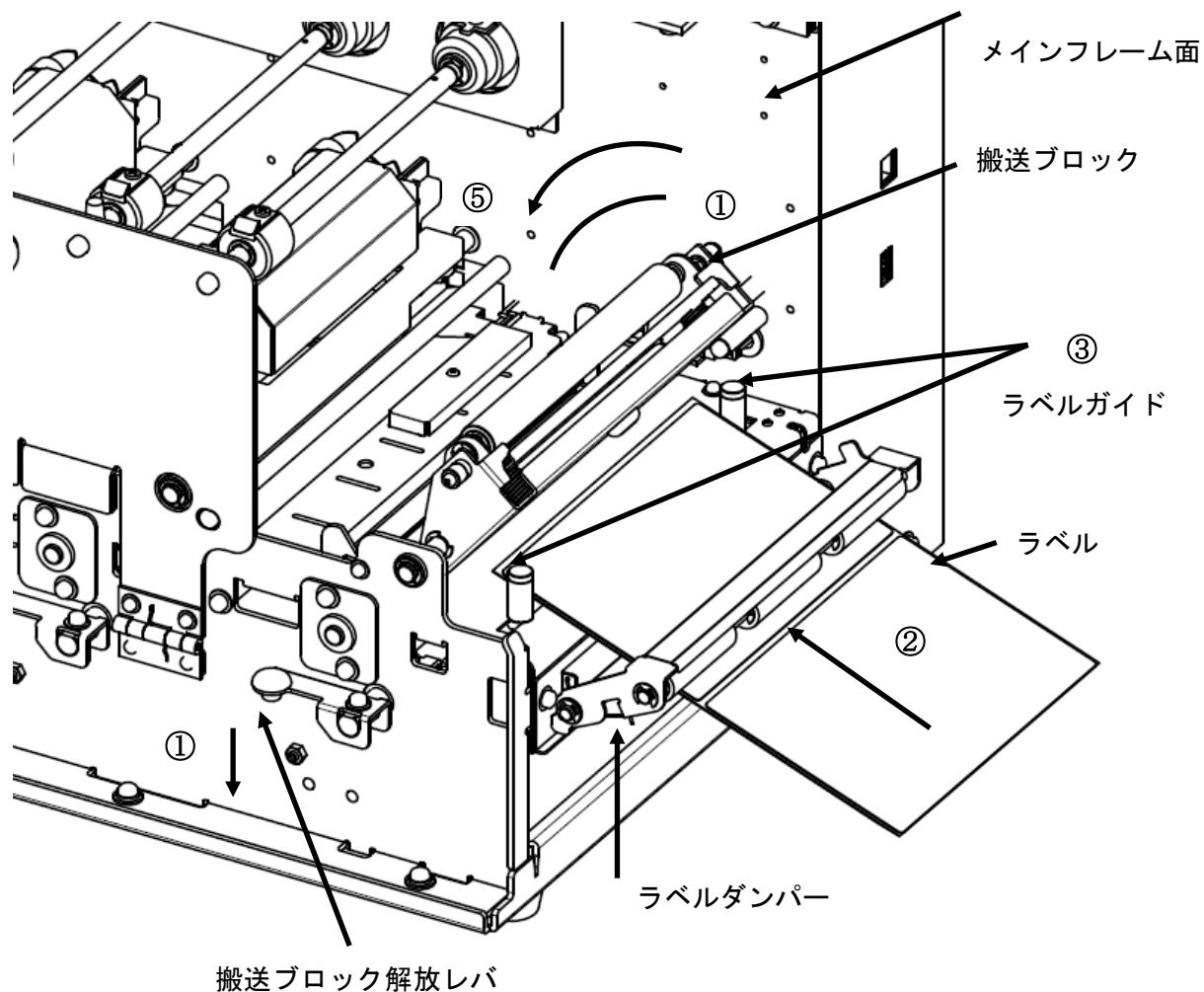
6-2-1) 標準仕様（連続ラベル）の場合

イ) 搬送ブロック解放レバーを押し下げ、搬送ブロックのロックを解除して下さい
(図中①)。

ロ) ラベルの先端を、ラベルダンパーの下を通して、プリンタ内に挿入して下さい
(図中②)。

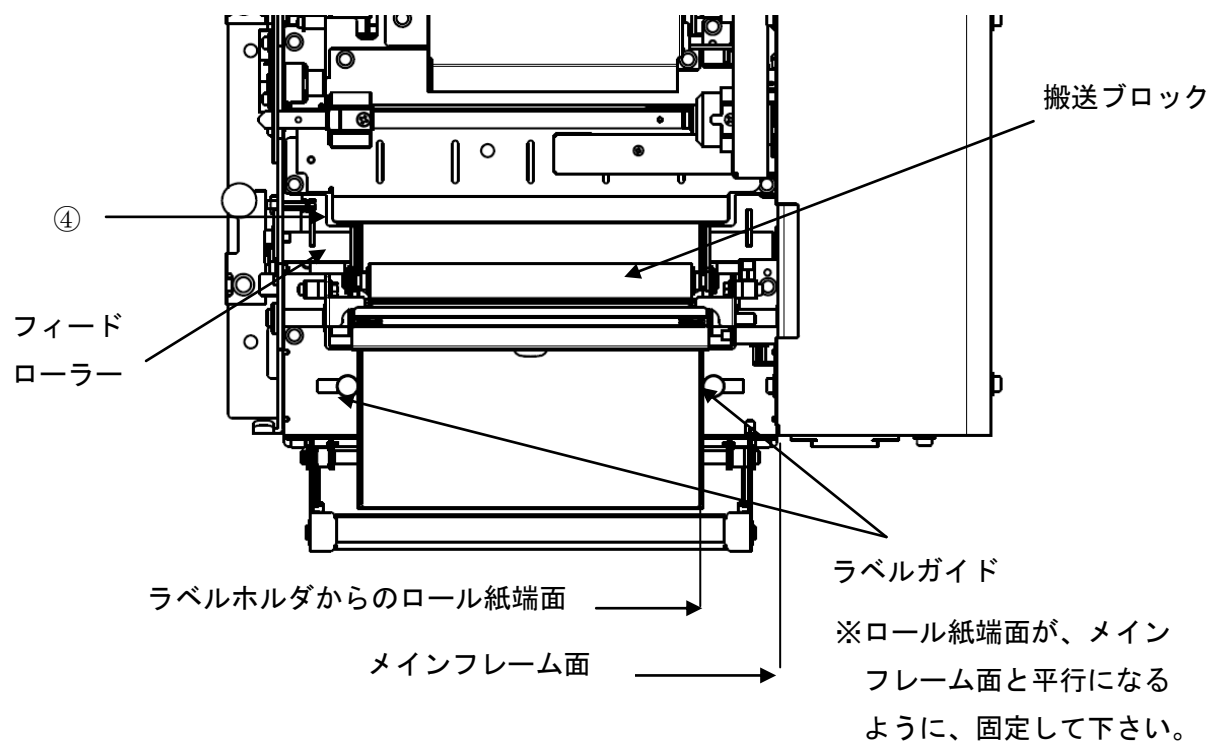
ハ) 左右のラベルガイドを、左に回して緩めた後、ラベル横両面に合わせ、右に回して閉めて固定して下さい(図中③)。

※注意 この時、ラベルホルダで合わせたラベル端面と、メインフレーム面が平行になる様にしてください。ラベルをメインフレーム面に対して傾いてセットすると、ラベルの斜行による印字位置のずれやラベルジャムの原因になります。



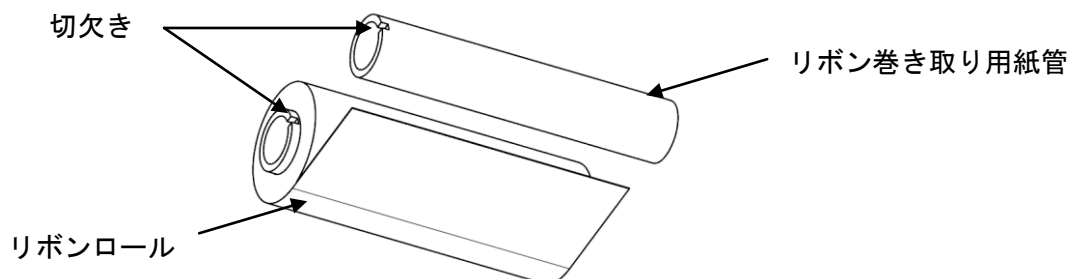
- ニ) ラベルの先端を、フィードローラーが隠れる位置まで差し込んで下さい (図中④)。
ホ) 搬送ブロックを、「カチッ」とロックが掛かる音がするまで、押し下げてロックして下さい。

<上から見た図>



7. リボンの取り付け方、交換方法

7-1) 新品のリボンのテープを剥がし、リボンロールと、リボン巻き取り用紙管に分けて下さい。

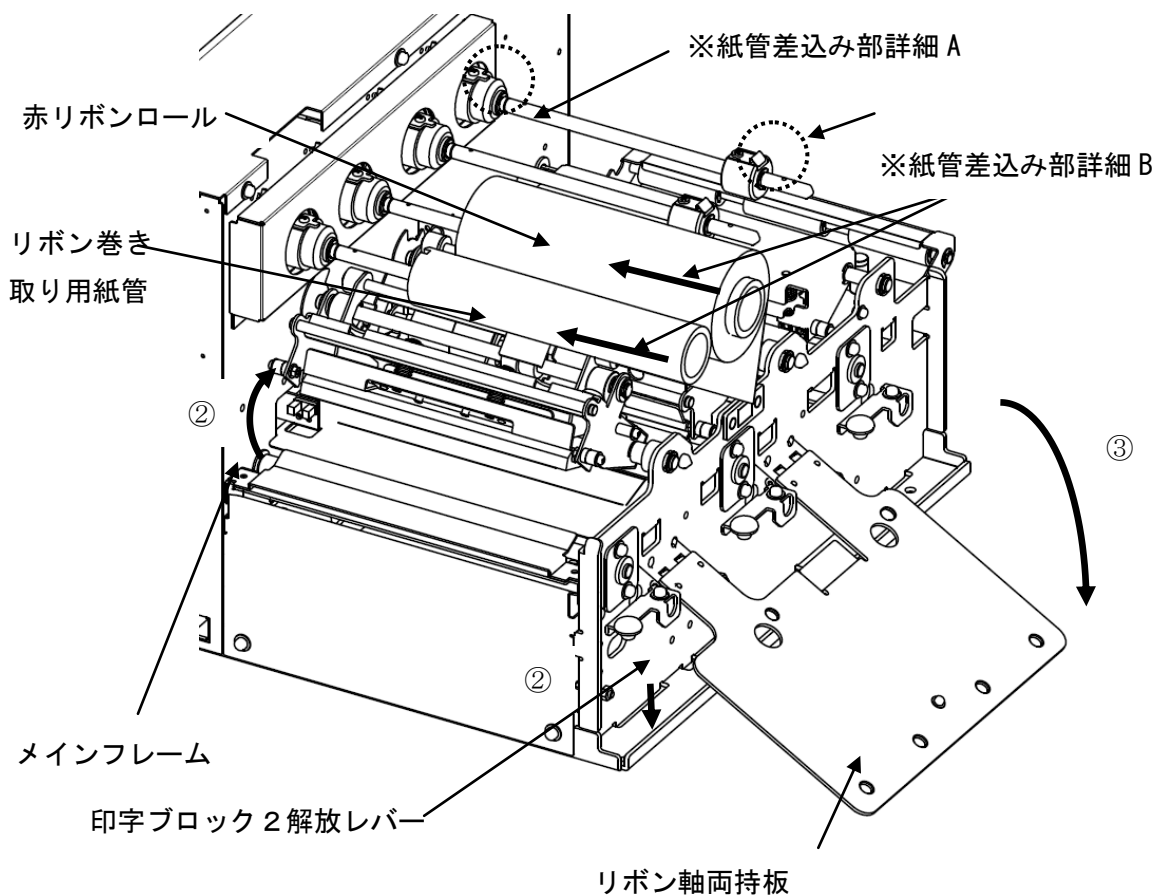


7-2) 印字ブロック 2 解放レバーを押し下げ、印字ブロック 2 のロックを解除して下さい。

7-3) リボン軸両持板のつまみを持って、リボン軸両持板をリボンガイド軸より開放して下さい。

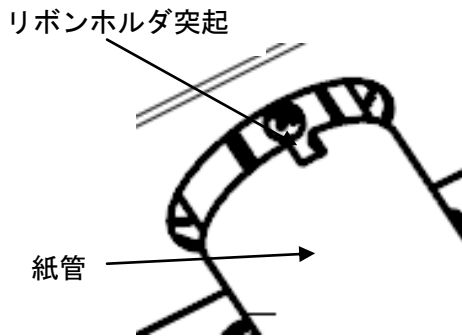
7-4) 印字ブロック 2 上の右側のリボンガイド軸に、赤リボンロールを左側のリボンガイド軸に、リボン巻き取り用紙管を、それぞれ、切欠きがメインフレーム側なるように差し込んで下さい。

(下図は、印字ブロック 2 上のリボンガイド軸に赤リボンロール、リボン巻き取り用紙管を差し込んだ例です。)

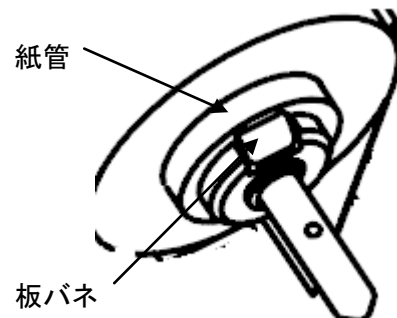


7-5) 赤リボンロール付き紙管と、リボン巻取り用紙管の切欠きを、リボンホルダ突起（紙管差込み部詳細 A）に差し込み、紙管が、板バネでロックされる位置（紙管差込み部詳細 B）まで差し込んで下さい。

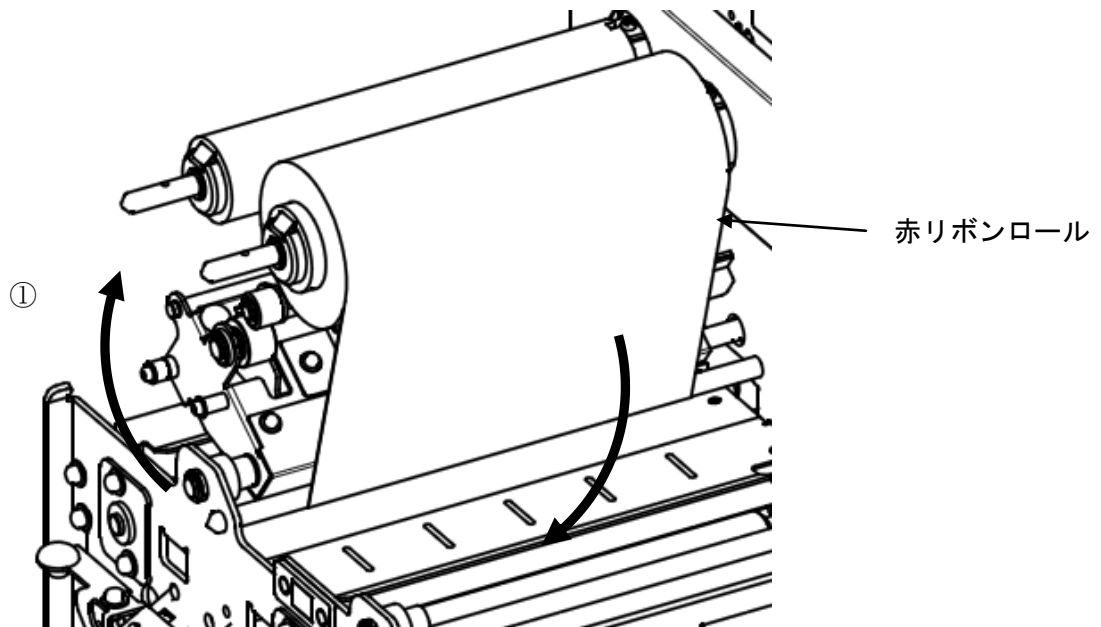
<紙管差込み部詳細 A>



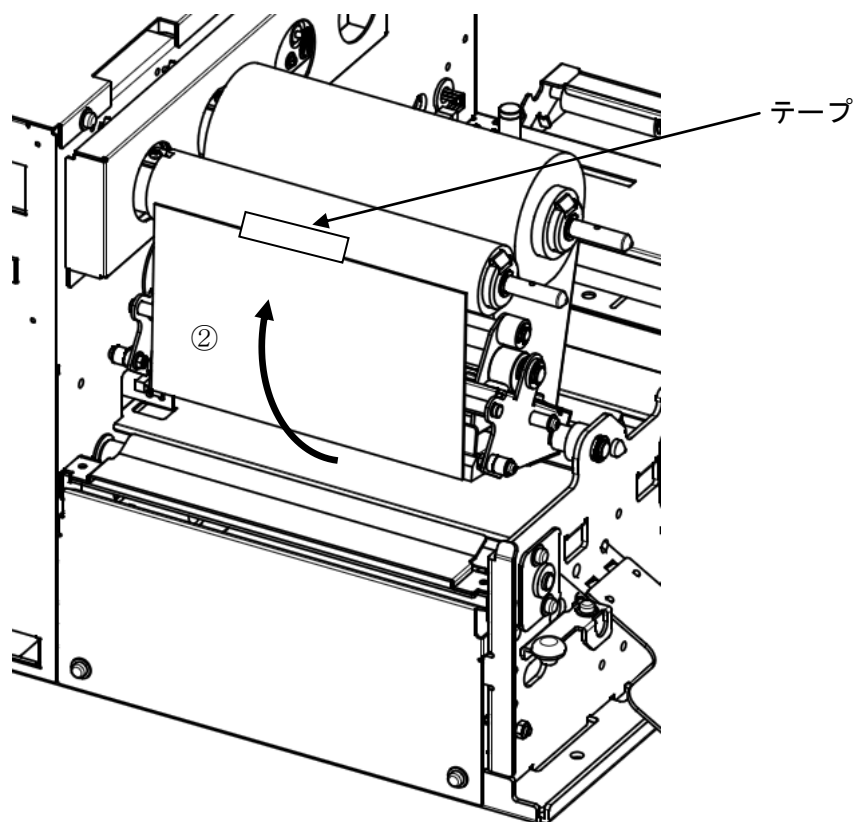
<紙管差込み部詳細 B>



7-6) 赤リボンロールの先端を、印字ブロック 2 のシャフトの下を潜らせて通して下さい（図中①）。



7-7) 印字ブロック2の下を通した赤リボン先端を、リボン巻取り用紙管まで引上げ、リボン幅を合わせ、リボン巻取り用紙管にテープで貼り付けて下さい(図中②)。



7-8) 印字ブロック2を「カチッ」とロックが掛かる音がするまで、押し下げてロックして下さい。

7-9) リボンの皺が無くなるまで、リボン巻取り用の紙管を時計回りに手で回して巻き取って下さい。

7-10) 印字ブロック1に黒リボンロールと、リボン巻取り用紙管を印字ブロック2と同様にセットして下さい。

7-11) リボン軸両持板のつまみを持って、リボンガイド軸に差し込んで閉めて下さい。

8. 反射・透過センサー出力値調整について

工場出荷時は、センサーの出力値は調整済みですが、認定ラベル以外のラベルを使用の場合、センサー出力調整が必要になる場合があります。センサー出力調整ボリュームを回して適正值に調整して下さい。

8-1) センサー出力適正值

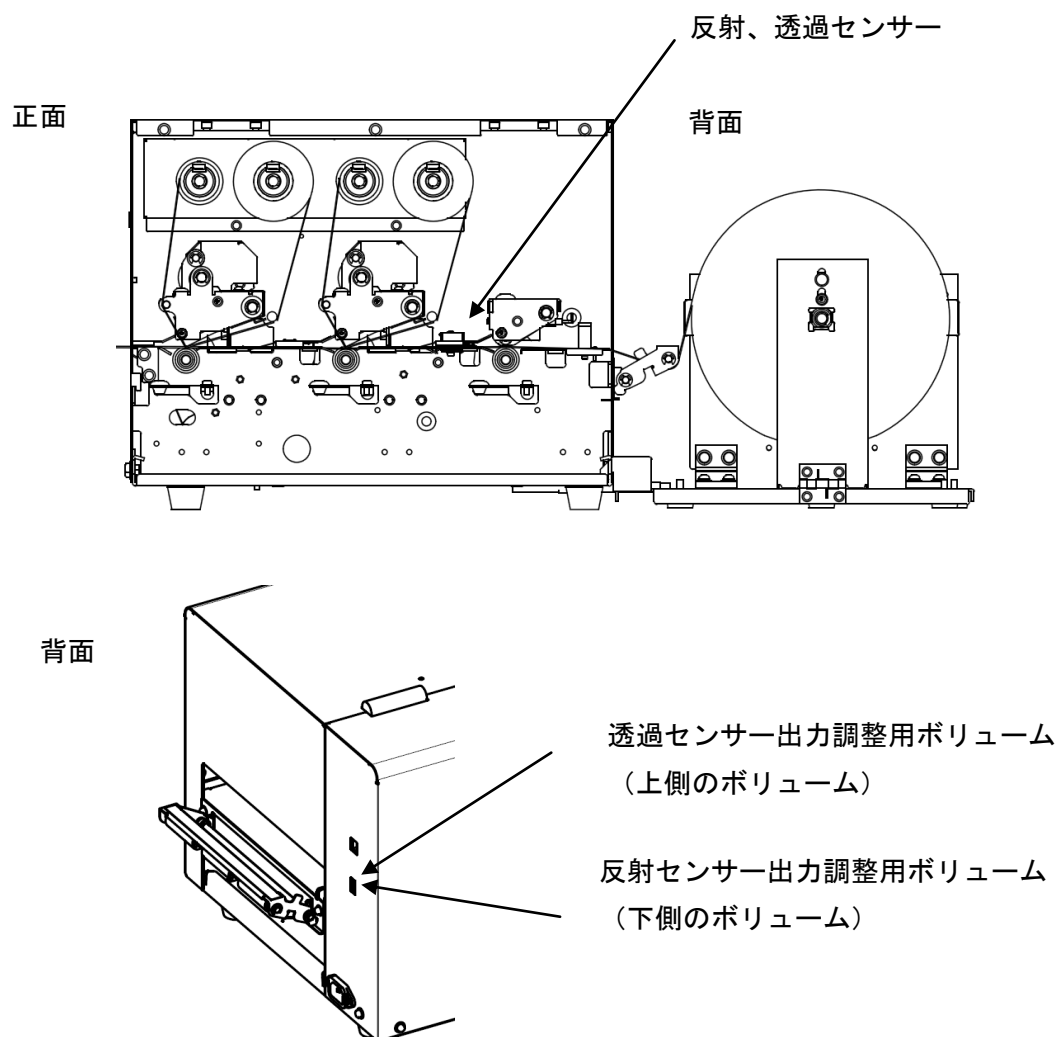
8-1-1) 反射センサー出力適正值

マーカが反射センサーの真下にあるとき	1. 0 V 以下
マーカが反射センサーの真下からはずれたとき	2. 5 V 以上

8-1-2) 透過センサー出力適正值

ギャップが透過センサーの真下にあるとき	2. 5 V 以上
ギャップが透過センサーの真下からはずれたとき	1. 0 V 以下

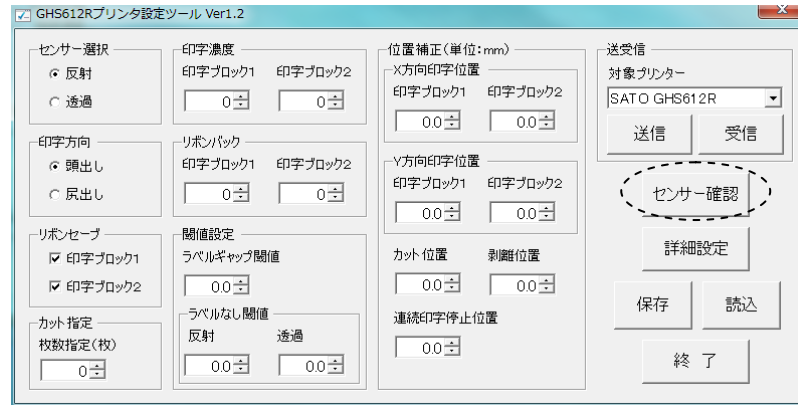
8-2) センサー（反射、透過）とセンサー出力調整ボリュームの場所



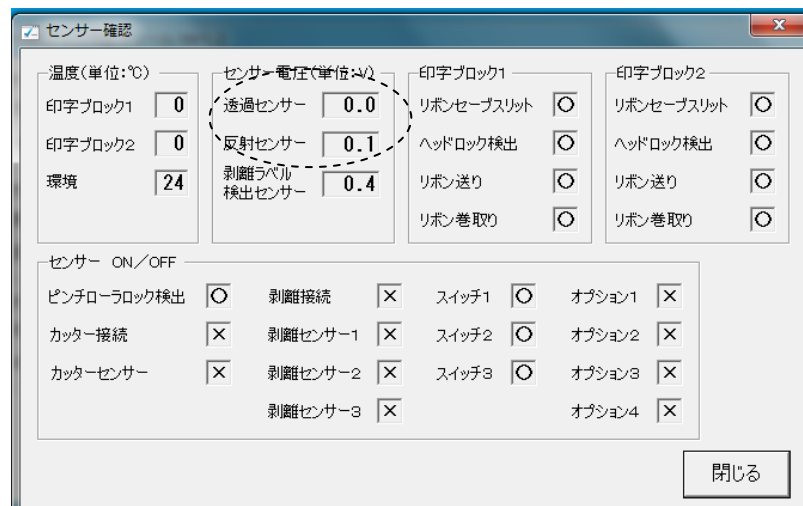
8-3) センサー出力値の表示方法

8-3-1) プリンター設定ツールを起動すると次のような画面を表示するので

センサー確認 ボタンをクリックして下さい。



8-3-2) 次の画面が表示され、現在の透過センサー、反射センサーの出力値が表示されます。出力調整ボリュームにより出力値の表示が変化します。



8-4) 反射センサー出力の調整方法

マーカが反射センサーの真下にあるときと、はずれているときのそれぞれの出力が適正値になるように8-3-2) の画面を見ながら、反射センサー出力調整用ボリュームを回して調整してください。

8-5) 透過センサー出力の調整方法

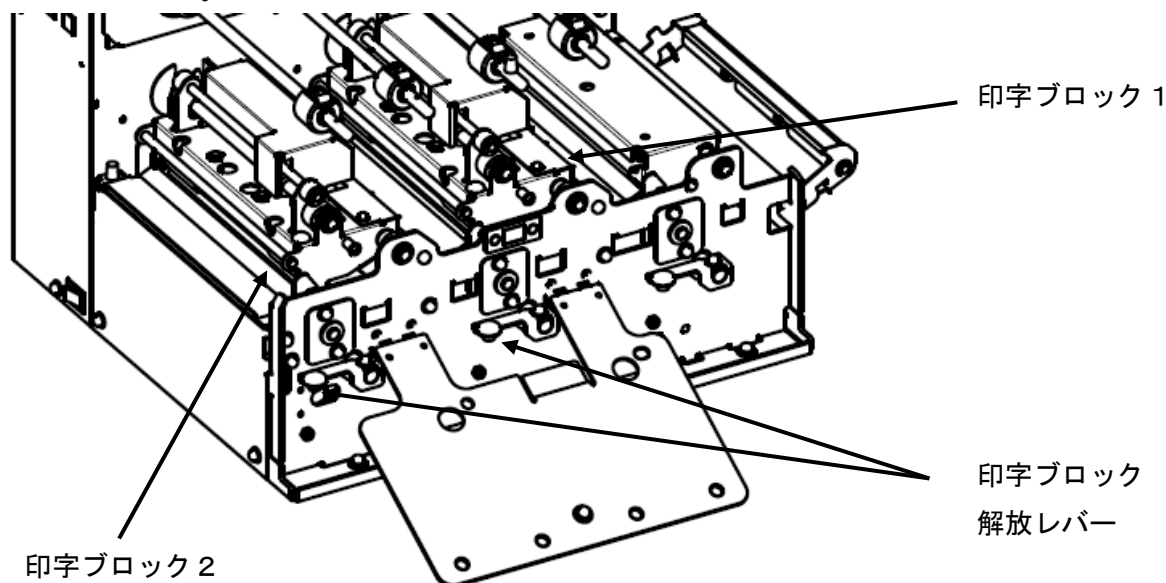
ギャップが透過センサーの真下にあるときと、ギャップが透過センサーの真下からはずれたときのそれぞれの出力が適正値になるように8-3-2) の画面を見ながら、透過センサー出力調整用ボリュームを回して調整してください。

9. 日常のお手入れ

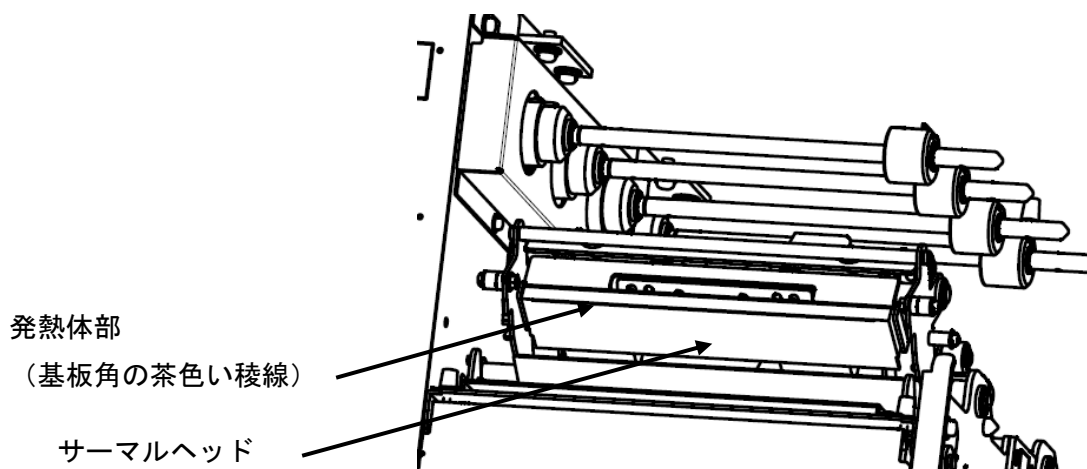
お手入れの際は、必ず、1、安全にお使いいただくためにを確認し、守ってください。
いつも綺麗な印字がえられるように、定期的に（ラベル又はリボン交換毎）に本機の掃除を行ってください。特に、印字ヘッド、プラテン、フィードローラー、ピンチローラーには汚れが付きやすいので下記の手順で清掃して下さい。

9-1) 印字ブロック部の清掃について

9-1-1) 印字ブロック解放レバーを押下し、印字ブロックのロックを解除して下さい。

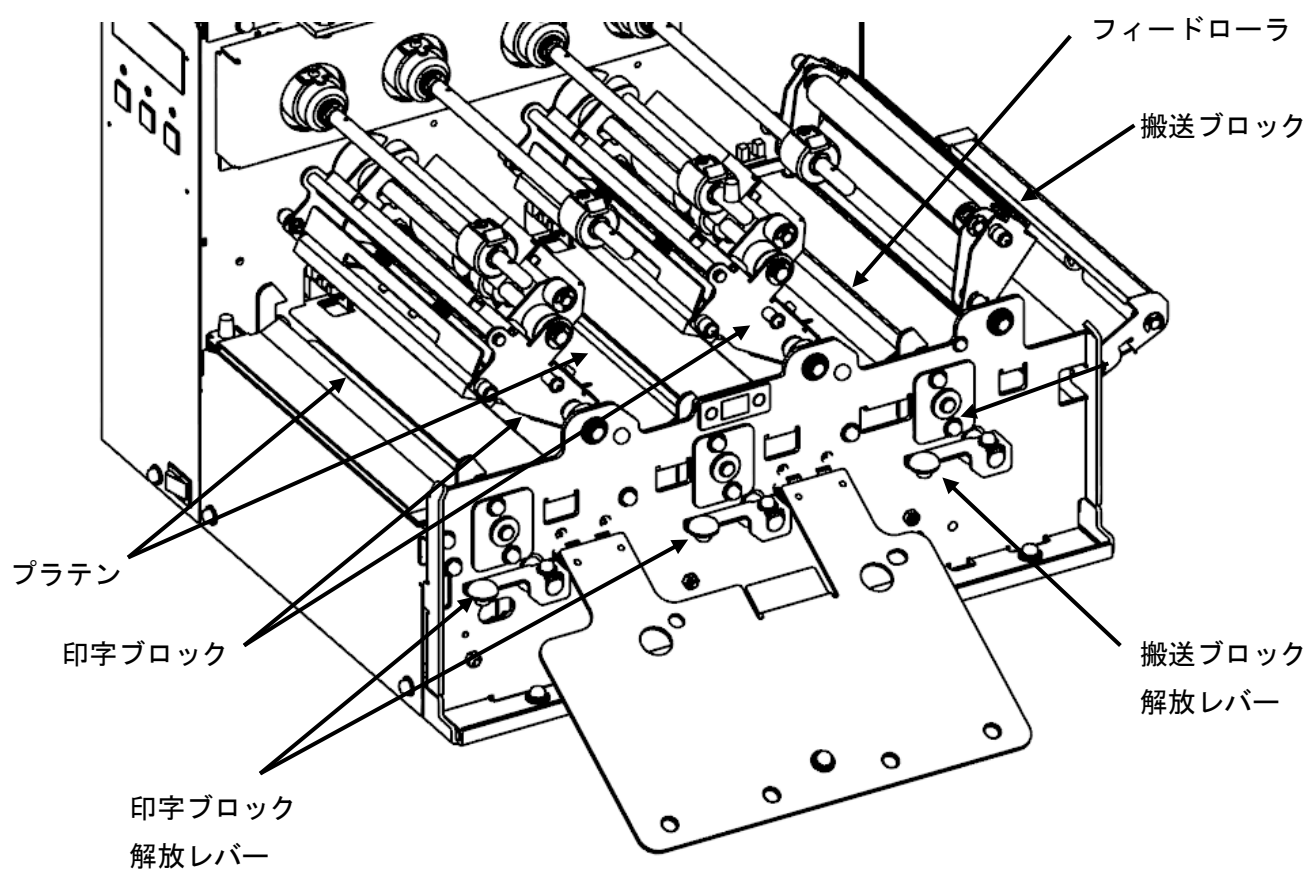


9-1-2) 印字ブロックのサーマルヘッドの発熱体部を、クリーニングペンを軽く押し当て、数回往復させ、クリーニングして下さい。
(印字ブロック 1, 2 のサーマルヘッド)



9-2) ラベル搬送部の清掃について

9-2-1) 印字ブロック開放レバー、および、搬送ブロック解放レバーを押下し、
印字ブロックと搬送ブロックを解除してください。



9-2-2) プラテン、フィードローラを、少量のプリンタ清掃液を含ませた
柔らかい布で拭いて下さい。

※クリーニングペンやクリーニングセットオプションです。ご購入の際は、サポート
センター、販売店へ問い合わせ下さい。

10. 困ったときは

10-1) エラーメッセージについて

プリンタに異常が発生した場合、液晶表示器にエラーメッセージが表示され、ERROR LEDが点灯して、プリンターが停止します。プリンターが停止した場合、エラー原因に対応する処置を施した後に「RESTART」キーを押下して、エラー解除を行ってください。エラー解除後にラベル再発行指示を行ってください。

	エラー表示	原因	処置
1	PAPER JAM	ラベルがないか、又は正しくセットされていない（ジャムリなど）	1) ラベルを正しくセットして。 搬送ブロックをロックして下さい。
2	PAPER END	印字中にラベルがなくなった状態 1) ラベルが終了または、切れた場合 2) ラベルセンサーからラベルが外れている場合	1) ラベルを新しくセットして下さい。 2) ラベルを正しくセットして下さい。
3	HEAD OPEN 1	印字ブロック 1 がオープン状態	印字ブロック 1 をロックして下さい。
4	HEAD OPEN 2	印字ブロック 2 がオープン状態	印字ブロック 2 をロックして下さい
5	ON LINE 1 *	リボン 1 の残量が少なくなった状態	新しいリボン 1 を装着して下さい。
6	ON LINE 2 *	リボン 2 の残量が少なくなった状態	新しいリボン 2 を装着して下さい。
7	ON LINE 1 * 2 *	リボン 1,2 の残量が少なくなった状態	新しいリボン 1,2 を装着して下さい。
8	RIBBON CUT 1	リボン 1 が切れている状態	リボン 1 を巻き直して装着して下さい。
9	RIBBON CUT 2	リボン 2 が切れている状態	リボン 2 を巻き直して装着して下さい。
10	RIBBON STOP 1	リボン 1 軸が回転しない状態	リボン軸がなにかに引っかかって回らないか確認して下さい。どうしても不明の場合はサービスセンタにご連絡下さい。
11	RIBBON STOP 2	リボン 2 軸が回転しない状態	
12	FBLOCK OPEN	搬送ブロックがオープン状態	搬送ブロックをロックして下さい。
13	CUTTER ERROR	1) カッタ部でラベル詰まりが発生している 2) カッタ刃が所定の位置に戻っていない	1) カッタ部の掃除をする 2) 上記後でも表示した場合は、サービスセンタにご連絡下さい。
14	OVER HEAT 1	印字ブロック 1 のサーマルヘッドがオーバーヒート状態	電源をオフし、一定時間放置して、温度を下げて下さい。
15	OVER HEAT 2	印字ブロック 2 のサーマルヘッドがオーバーヒート状態	電源をオフし、一定時間放置して、温度を下げて下さい。
16	OVER HEAT	プリンタ内の温度が許容範囲を超えた状態	電源をオフし、一定時間放置して、温度を下げて下さい。

10-2) 正しく動作しない場合

10-2-1) 電源をいれてもディスプレイになにも表示されない場合

	確認して下さい	処置
1	電源コンセントに電源コードが差し込まれていますか？	電源コードをコンセントにしっかりと差し込み直して下さい。
2	本プリンタに電源コードがしっかりと差し込まれていますか？	電源コードを本体の電源インレットにしっかりと差し込み直して下さい。
3	電源コードが傷んでいませんか？	電源コードを取り替えて下さい。 新しい電源コードは、本プリンタを購入された販売店で必ず本プリンタ専用の電源コードをお求めください。本プリンタの専用の電源コード以外は絶対に使用しないで下さい。
4	本プリンタの電源を取っている電源コンセントに電気がきていますか？	電源コンセントのもと電源を調べて下さい。 もとの電源に問題のないときは、建物全体に電気がきているか調べて下さい。 停電の可能性も調べて下さい。
5	建物の電源ヒューズが切れたり、ブレーカが落ちたりしていませんか？	建物の電源ヒューズを取替え、ブレーカを電源オンの位置に直して下さい。

10-2-2) ラベル送りはするけど印字されない場合

	確認して下さい	処置
1	印字ブロックのサーマルヘッドが汚れていたり、ラベルが貼りついていませんか？	サーマルヘッドが汚れていたらクリーナペンで汚れをふき取り、また、ラベルが貼りついていたらはがして下さい。 金属物での除去は避けて下さい。(印字ヘッドを傷つけるおそれがあります) このとき、ラベルの糊が付着していたら、クリーニングセットで拭き取って下さい。
2	本プリンタ用のサトー製品のラベル、リボンを使っていますか？	サトー製プリンタにはサトーのサプライ“純正”のご使用をお願いします
3	ラベルセンサが汚れていませんか？	ラベルセンサが汚れていたら、クリーニングセットで汚れを拭き取って下さい
4	リボンが正しく巻き取られていますか？	リボンを正しく巻き直して下さい。

10-2-3) きれいに印字しない場合

	確認してください	処置
1	ラベル、リボンが正しくセットされていますか？	ラベル、リボンがきちんと固定されているか調べて下さい。印字ブロック部をオープンにして、用紙、リボンが正しくセットされているか調べて正しくセットして下さい。
2	印字濃度が薄すぎたり、濃すぎたりしていませんか？	設定操作で印字濃度を設定し直して下さい。
3	プラテンローラが汚れていませんか？	プラテンローラが汚れていたら、クリーニングセットで汚れを拭き取って下さい
4	サーマルヘッドが汚れていたり、ラベルが貼りついていませんか？	印字ヘッドが汚れていたらクリーナペンで汚れをふき取り、また、ラベルが貼りついていたら剥がして下さい。 金属物での除去は避けて下さい（印字ヘッドを傷つけるおそれがあります） このとき、ラベルの糊が付着していたら、クリーニングセットで拭き取って下さい。
5	汚れたラベルを使っていませんか？	きれいなラベルを使って下さい。
6	本プリンタ用のサトー製品のラベル・リボンを使っていますか？	サトー製プリンタにはサトーのサプライ“純正”のご使用をお願いします

10-2-4) 印字位置がずれる場合

	確認して下さい	処置
1	ラベル、リボンが正しくセットされていますか？	ラベル、リボンがきちんと固定されているか調べて下さい。印字ブロック部をオープンにして、用紙、リボンが正しくセットされているか調べて正しくセットして下さい。
2	プラテンローラが汚れていませんか？	プラテンローラが汚れていたら、クリーニングセットで汚れを拭き取って下さい
3	型くずれしたラベル・リボンを使っていませんか？	ラベル・リボンの周囲が型くずれしているとラベル送りが正常にできません。型くずれしていないラベル・リボンを使って下さい
4	本プリンタ用のサトー製品のラベル・リボンを使っていますか？	サトー製プリンタにはサトーのサプライ“純正”のご使用をお願いします
5	ラベルセンサが汚れていませんか？	ラベルセンサが汚れていたら、クリーニングセットで汚れを拭き取って下さい
6	印字位置補正值が正しいですか？	パソコン側の設定操作で印字位置補正を設定し直して下さい。
7	パソコンから送られてくるデータは正しいですか？	パソコン側のプリンタドライバのプロパティおよびデータを確認し、設定し直して下さい。

1 1. 基本仕様

本機の仕様	内容
印刷方式	熱転写方式 2 色
印字ヘッド	エッジヘッド 2 本
印字密度	12dot/mm (305dpi)
印字速度	4 インチ (101.6mm) /秒、6 インチ (152.4mm) /秒、8 インチ (203.2mm) /秒
印字有効エリア	長さ 600mm × 幅 160mm (センタ合せ)
印字禁止領域	長さ方向 上 : 1.5mm、下 : 1.5mm (台紙含まず) 幅方向 左 : 1.5mm、右 : 1.5mm (台紙含まず)
ラベルの種類／形態	サトー製品のラベル“純正”のご使用をお願いします。／ロール紙 (外巻き)
ラベル厚	0.13mm ~ 0.18mm
ラベルサイズ	長さ 50 ~ 600mm (台紙含み 53 ~ 603mm) 幅 47mm ~ 177mm (台紙含み 50 ~ 180mm)
ロール紙外形／支管サイズ	ロール紙 ラベル外形 最大 210mm 支管内径 76.2mm
ラベル種類	認定ラベル 4 種類 (A コート、S コート、キャストコート、合成)
リボン種類	サトー製品のリボン“純正”のご使用をお願いします。
リボンサイズ／リボン形態／リボン巻き方向	リボン長 : 最大 300m (外径 65mm 以下) リボン幅 : 最大 167mm 巻き方向 : 表巻き 巻き取り方式 : 支管付 (177mm 幅 内径 25.4mm 切り欠き付き支管)
発行モード	連続、カット、剥離自動貼、剥離手動貼
外形寸法／重量	プリンタ本体 幅 363mm × 奥行き 393mm × 高さ 317mm / 23.5Kg ラベルホルダ接続時 幅 377mm × 奥行き 685mm × 高さ 317mm / 28.5Kg
電源仕様	入力電圧 : AC 100V ~ 240 ± 10 % 消費電力 : ピーク時 115w 待機時 15w
環境条件	使用温度 : 5 ~ 35℃ 湿度 : 30 ~ 80 %RH (ただし、結露なきこと) 保存温度 : -5 ~ 60℃ 湿度 : 30 ~ 90 %RH (ただし、結露なきこと)

インターフェイス	USBインターフェース EXTインターフェース（オプション）
オプション機器	カッタ仕様（工場オプション） ハクリ仕様（工場オプション） 外部巻取り装置（RWG500）接続キット
操作	LCD：5 X 7 ドット 横16キャラクタ 縦2行 LED：POWER（緑）、ONLINE（緑）、ERROR（赤） キー：FEED、RESTART、STOP
レベル調整	印字濃度調整、印字位置調整、停止位置調整（パソコンの設定ツールで調整）
ラベル長検出センサ	アイマークセンサ（反射タイプ）、ギャップセンサ（透過タイプ）
印字イメージ加工方式	GDI方式：WINDOWSドライバ-使用（WINDOWS7 32BIT）
自己診断機能	ヘッドオープン検出 ピンチローラオープン検出 リボン切れ検出 リボンニアエンド検出 カッタエラー ラベル詰まり検出 温度異常検出

12. アフターフォローについて

お買い上げいただきました システム機器を、安心してご使用いただくために、保守サービス業務を行っております。

保守サービス業務について、ご説明します。

<サービスの種類委一覧表>

	交換部品	技術料	出向費
保証期間内サービス	保証規定に基づき無償	保証規定に基づき無償	保証規定に基づき無償
保守契約サービス	契約料金に含みます	契約料金に含みます	契約料金に含みます
スポットサービス	そのつど有償	そのつど有償	そのつど有償

標準仕様機器の補修部品の保有は、当該機器の販売終了後より、5年とさせていただきます。（機器の販売終了につきましては、弊社のホームページ <http://www.sato.co.jp/> でご確認ください。）

<保守サービスの内容一覧表>

出向保守	オンサイト保守	故障が発生した場合、お客様のご要望により技術員を派遣し、故障の修復にあたります。
持ち込み保守	センドバック保守	故障が発生した場合は、用紙を同梱した状態で、機器故障ユニットを最寄のサポートセンター・販売店へ、お客様により持ち込んで（運送して）いただき、故障の修復にあたります。 輸送費はお客様負担となります。

<保守サービスの説明>

保証期間の保守サービス

製品は1台ごとに検査し、お届けしていますが、安心してご使用いただくため、正常な使用のもとでの故障については、納入より6か月間を保証期間として無償修理を行っております。

サーマルヘッド、カッター、プラテンローラーなどの消耗部品につきましては、弊社純正サプライ品での走行距離 30Km（カッターは30万回）または、納入より6ヶ月間の早い方が無償修理対応となります。

<保守契約サービス>

保証期間が過ぎましても、安心してご使用いただくために「保守契約サービス」があります。

フルメンテナンスサービス

1. 目的

お客様とサトーが保守契約し、契約期間中の正常なご使用のもとでの修理故障は、この契約に基づき実施いたします。技術料、および、修理に使用した交換部品は、保守契約により充当されます。したがって、お客様にとりましては1年間一定の保守料で安心してご使用いただくことができます。

2. 保守契約料

保守契約料は、機器ごとに使用状況別に年間の契約料をお見積りいたします。

保守契約サービスの期間

フルメンテナンスサービスは1年単位で契約し、解約のお申し出がない限り、4年間まで継続して契約することができます。4年を超える保守契約サービスについては、別基準にしたがい個々にお見積りいたします。

保守契約の対象地域について

保守契約の対象地域に、サトー本社、支店、営業所、サポートセンターの所在地より、半径80Km以内といたします。対象地域外の場合は、遠隔地料を含む保守契約により保守契約を申し受けます。

なお離島の場合は、交通費を含む保守契約料により保守契約を申し受けます。

<スポットサービス>

保守契約を申し受けていない場合、保証期間終了後、すべてスポットサービスを実施いたします。

故障時には、保守契約のお客様を優先して対応させていただきますので、修理に時間がかかる場合がございますが、ご了承ください。

スポットサービスを実施した場合、サービス料金表に基づき、保守料を請求させていただきます。そのつどお支払くださいますよう、お願いいたします。

銀行預金口座振込

お支払いには、振込手続きが不要で便利な「銀行預金口座振込システム」のご利用をお勧めいたします。

登録データについて

修理を依頼される場合は、機械またはカードなどに登録された各種データ・ソフト（フォーマット・プリセットデータ・印字ソフト等々）は、修復作業時に壊れる場合があります。（登録された各種データ・ソフトの保証はできません。）

特に預かり・持ち込み保守におきましては、お客様であらかじめ別途保存されることをお勧めします。修理の完了した機械の受取時に登録データの確認または再登録をお願いいたします。